

「平成 29 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」
確定版



平成 30 年 3 月

伊勢湾再生推進会議

目次

1. はじめに	1
2. 「平成 29 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要	2
2.1 モニタリング期間	2
2.2 モニタリングの種類	2
2.3 モニタリング参加者	2
2.4 水質調査地点	4
2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況	6
3. モニタリング調査結果	10
3.1 分析による水質調査	10
3.2 簡易水質テスト結果	19
3.3 一斉モニタリングの状況	26
3.4 ごみ調査の状況	86
3.5 水生生物調査結果	91
4. 感想等	97
5. 一斉モニタリング経年調査結果のまとめ	105

1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力ある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉モニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様にも、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。

今回は確定版として分析による水質調査、簡易水質テストによる調査、ゴミ調査、水生生物調査の結果についてとりまとめました。



図 1.1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。

(上の図の水色および緑色で示した部分)

- ・伊勢湾再生推進会議構成団体：国土交通省中部地方整備局・海上保安庁第四管区海上保安本部・内閣府地方創生推進事務局・農林水産省東海農政局・林野庁中部森林管理局・水産庁漁港漁場整備部・経済産業省中部経済産業局・環境省中部地方環境事務所・岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

2. 「平成 29 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

2.1 モニタリング期間

平成 29 年 8 月 2 日（水）を統一実施日とし、平成 29 年 7 月 26 日（水）～8 月 9 日（水）の期間で実施しました。

2.2 モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

- ① 分析による水質調査（調査結果 p.10～18）
- ② 簡易水質テスト（調査結果 p.19～25）
- ③ 一斉モニタリングの状況（調査結果 p.26～85）
- ④ ゴミ調査（調査結果 p.86～90）
- ⑤ 水生生物調査（調査結果 p.91～96）

2.3 モニタリング参加者

今年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 2.1 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト、 ゴミ調査、生物調査
平成 29 年度	25	48
平成 28 年度	17	51
平成 27 年度	31	71
平成 26 年度	15	76
平成 25 年度	29	83
平成 24 年度	46	59
平成 23 年度	42	49
平成 22 年度	51	67
平成 21 年度	35	60

◆ 分析による水質調査

【行政機関】

愛知県建設部下水道課（一宮建設事務所、尾張建設事務所、海部建設事務所、知多建設事務所、知立建設事務所、西三河建設事務所）、阿木川ダム管理所、小里川ダム管理所、木曾川上流河川事務所、岐阜県可児市（環境課）、岐阜県環境生活部、岐阜県神戸町、岐阜市自然環境課、岐阜県多治見市、岐阜県美濃加茂市、庄内川河川事務所、豊橋河川事務所、名古屋市常時監視結果、丸山ダム管理所、三重河川国道事務所、三重県津市（環境保全課）、水資源機構、矢作ダム管理所、横山ダム工事事務所、四日市港湾事務所

◆ 簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査

【行政機関】

愛知県岡崎市、愛知県岐南町、伊勢湾流域圏一斉モニタリング事務局、岐阜県可児市（環境課）、岐阜県環境生活部、岐阜市自然環境課、岐阜県土岐市、岐阜県御嵩町、岐阜県美濃加茂市、第四管区海上保安本部、三重県津市（環境保全課）、四日市港湾事務所

【市民団体・NPO 法人・個人】

「あいちの海」グリーンマップ、イーツワン（環境 21 期会）、伊勢湾流域圏再生ネットワーク（伊勢湾ネット）、稲津公民館 お兄さんお姉さんと勉強のお部屋、猪子石学童保育所、内山川ホテルを守る会、梅田川フォーラム、NPO 法人伊勢湾フォーラム、NPO 法人木曾三川ごみの会、扇川を愛する緑の会、大井まちづくり協議会 スナメリの海、岡田ファミリー、小里川ダム里山教室、各務原市生活学校、金山町生活学校、可児市めだかの楽校、川ナビ歩こう会、港栄第一エコクラブ、鯨城・堀川と生活を考える会、清水川を愛する会、十四川と環境を守る会 十四川部門、庄内川に松並木づくり隊、ステイッチ、高松干潟を守ろう会、根本愛郷会、引山学区連絡協議会、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、別所団地西鹿乗川美化クラブ、宮川流域ルネッサンス協議会、やすらぎくんネット、矢田・庄内川をきれいにする会、養老町生活と環境を考える会、四つ葉会、レッ津！夢みなとプラン推進協議会、論田川を美しくする会

【企業】

小塩通信株式会社、株式会社 地域環境計画、神野建設株式会社、東芝プラントシステム株式会社、東洋建設株式会社、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

【学校】

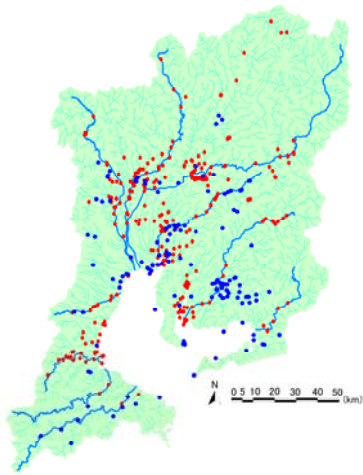
四日市市立山手中学校

2.4 水質調査地点

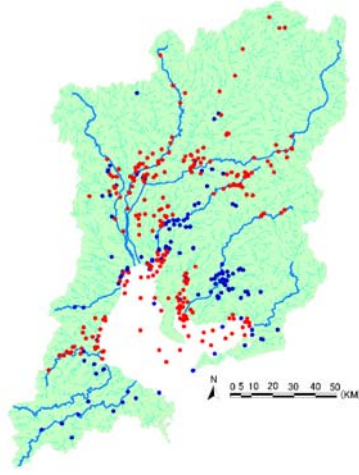
平成 29 年度のモニタリング調査地点数は、分析による水質調査が 325 地点、簡易水質調査が 160 地点でした。

表 2.2 一斉モニタリング地点数の推移

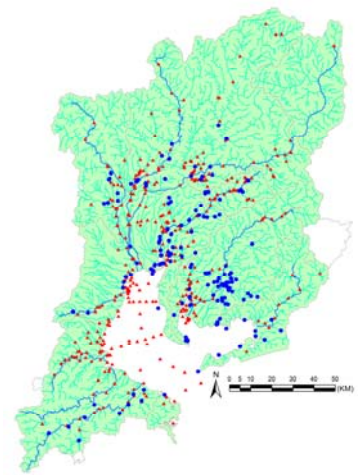
	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 29 年度	285	40	325	128	32	160
平成 28 年度	215	164	379	160	31	191
平成 27 年度	422	77	499	225	27	252
平成 26 年度	259	80	339	132	32	164
平成 25 年度	328	125	453	159	33	192
平成 24 年度	450	223	673	357	32	389
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106



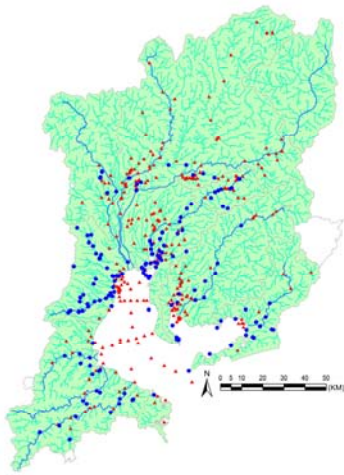
(平成 29 年度モニタリング地点)



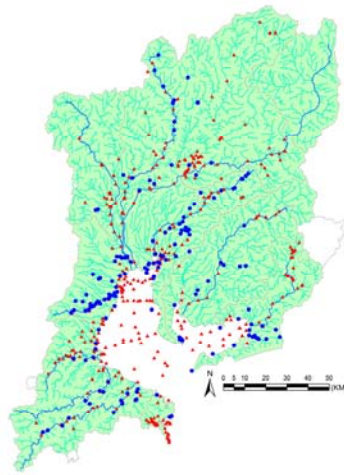
(平成 28 年度モニタリング地点)



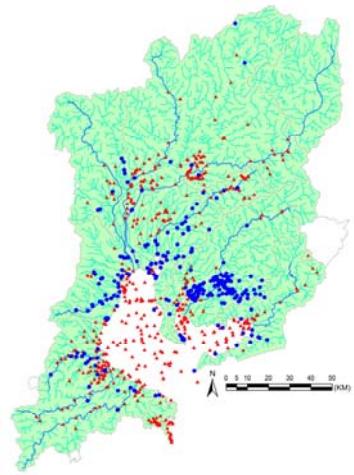
(平成 27 年度モニタリング地点)



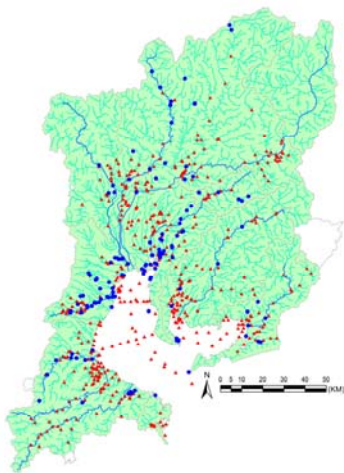
(平成 26 年度モニタリング地点)



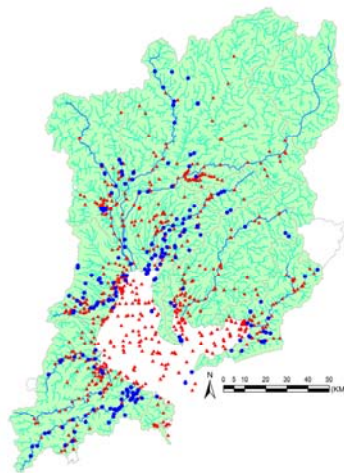
(平成 25 年度モニタリング地点)



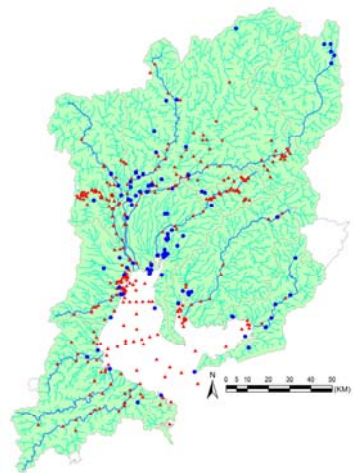
(平成 24 年度モニタリング地点)



(平成 23 年度モニタリング地点)



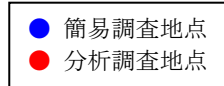
(平成 22 年度モニタリング地点)



(平成 21 年度モニタリング地点)

図 2.1 平成 21 年度～平成 29 年度一斉モニタリング地点

※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。

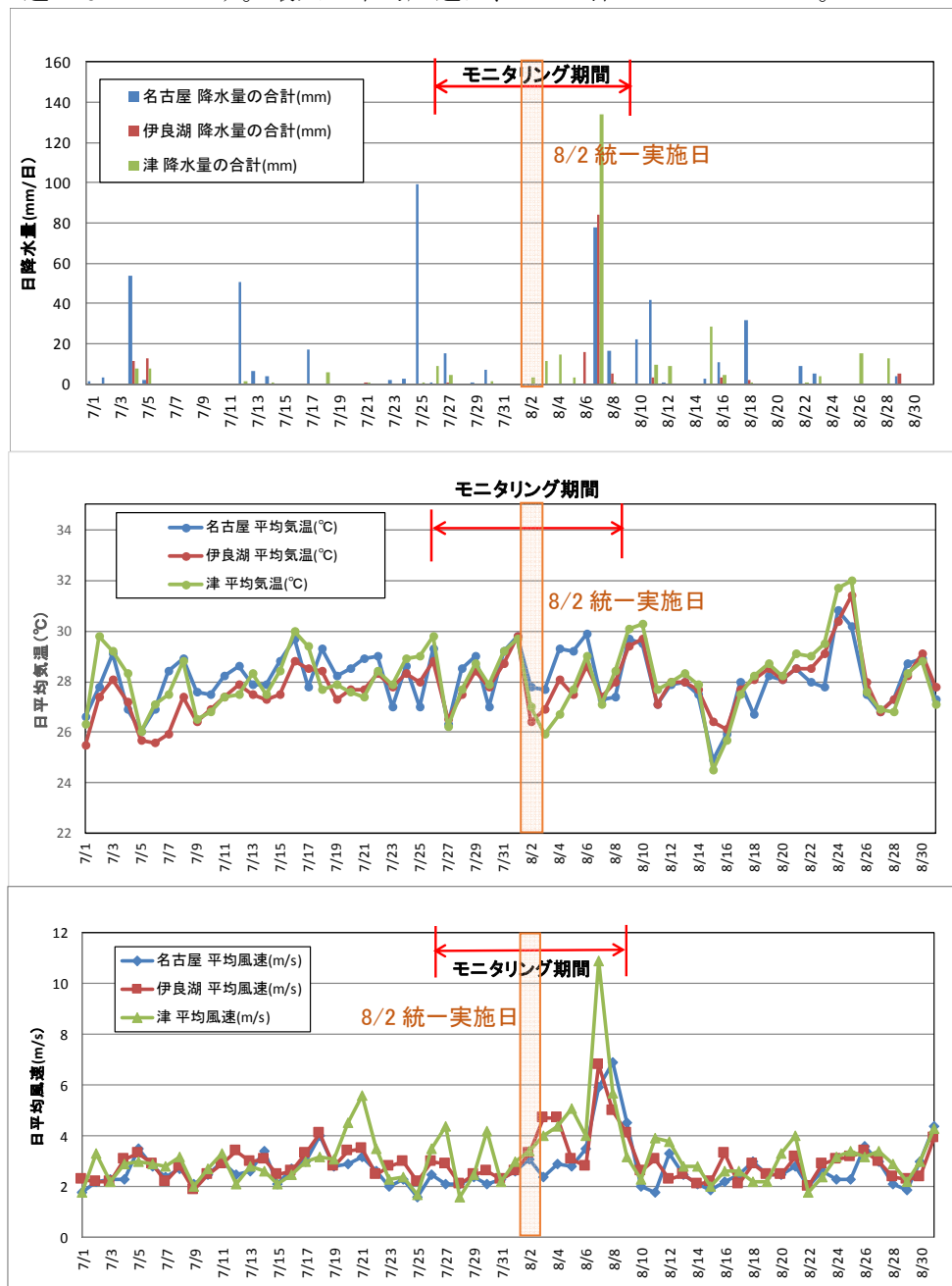


2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況

一斉モニタリング期間(平成 29 年 7 月 26 日～8 月 9 日)を含む気象・海象状況を図 2.2、図 2.3 に示します。

一斉モニタリング期間中、7/27、8/7、8/8 に名古屋で降水が生じました。一斉モニタリング期間中で最も大きな降水は 8/7 で、以降の一斉モニタリングの水質等に影響した可能性があります。一斉モニタリング期間中の平均気温は 25～30℃程度で、最高の平均気温は 8/9 の津で 30.1℃でした。

日平均風速は、津で他の観測点よりも高い傾向がみられ、8/7～8 には 3 地点とも高い平均風速となっています。最大の平均風速は、8/7 の津で 10.9m でした。

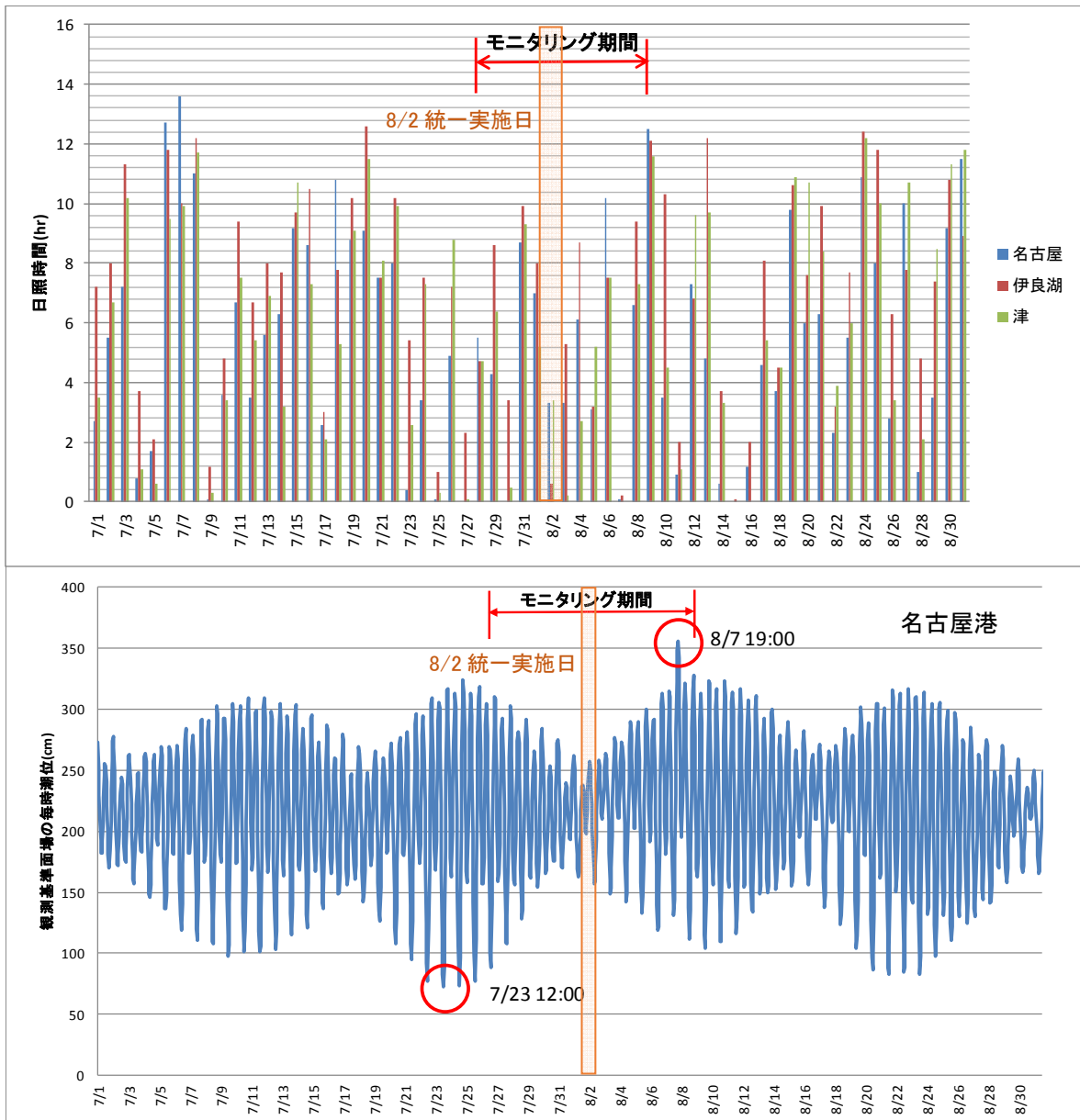


気象庁のデータから作成

図 2.2 一斉モニタリング時の気象・海象状況①(降水量・気温・風速)

日照時間は、7月下旬から8月上旬に少なくなっている地点があります。8/2の統一実施日は少ない日照時間となっていますが、8/9のモニタリング期間最終日は日照時間が多くなりました。

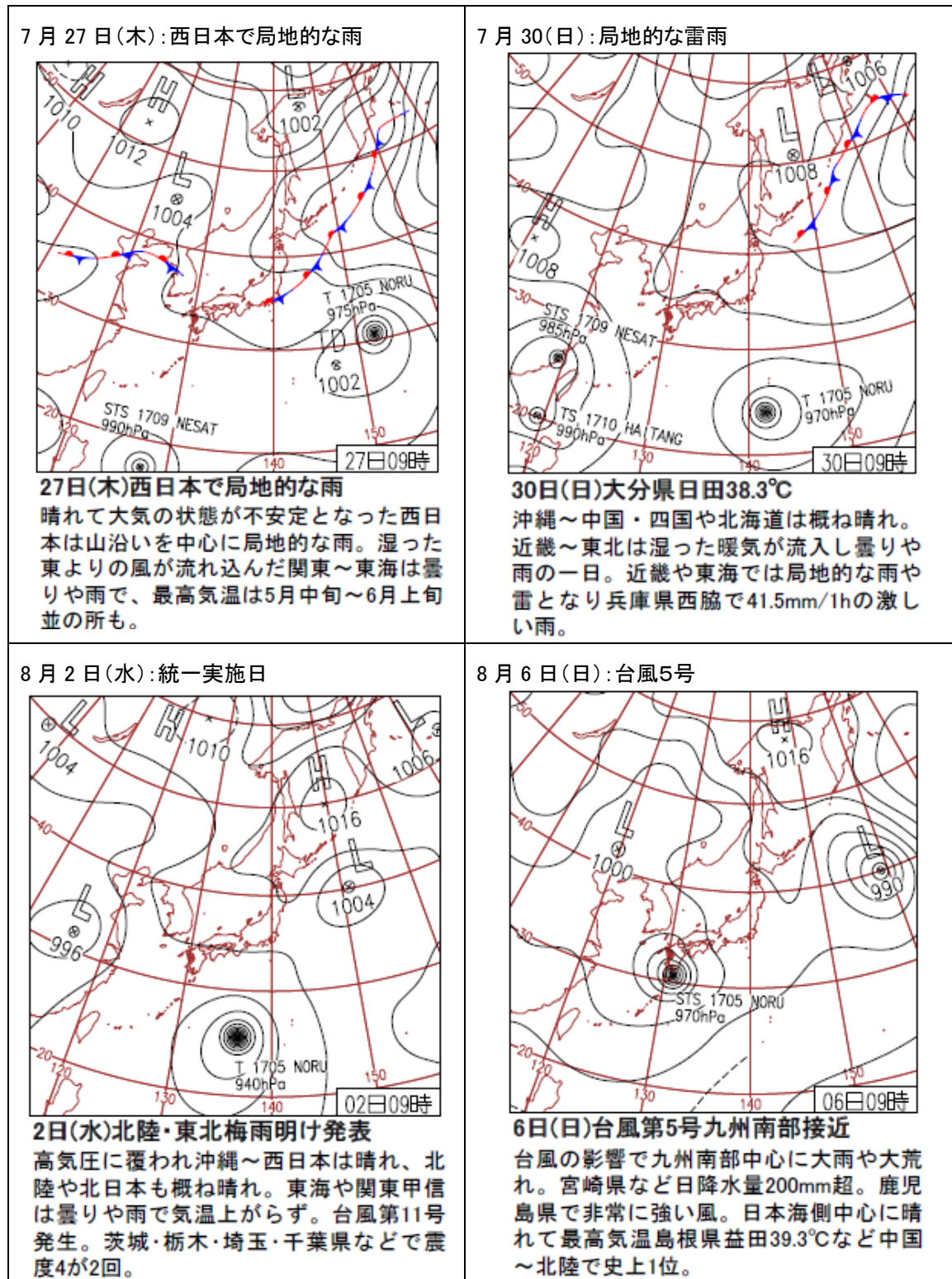
名古屋港の観測潮位について、7月～8月の最低潮位は7月23日の12時に73cm、最高潮位は、8月7日の19時に356cmとなっています。



気象庁のデータから作成

図 2.3 一斉モニタリング時の気象・海象状況②(日照時間・潮位)

一斉モニタリング中の主な天気図を図 2.4 に示します。7月下旬から8月上旬にかけて、台風の発生や前線の影響により不安定な天気となりました。局地的な雨や、曇りの日も多くあまり気温が上がらない日もありました。



気象庁ホームページより

図 2.4 一斉モニタリング時の主な天気図

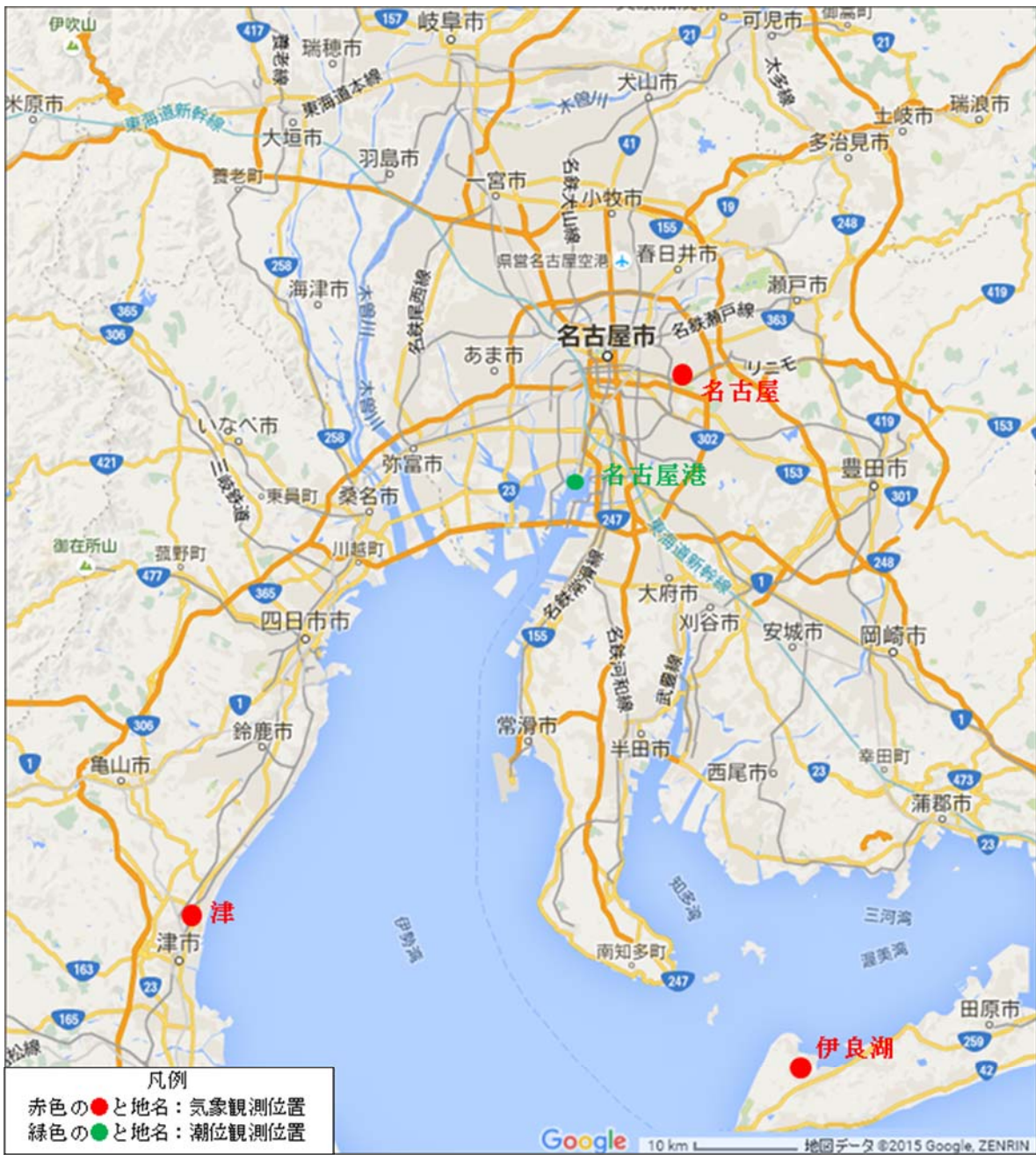


図 2.5 気象・海象観測位置(赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置)

3. モニタリング調査結果

3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の8項目を示します。

- ① BOD（生物化学的酸素要求量）
- ② COD（化学的酸素要求量）
- ③ pH
- ④ 全窒素
- ⑤ 全リン
- ⑥ DO（溶存酸素）
- ⑦ SS（浮遊物質）
- ⑧ 大腸菌群数

<水質指標が示すもの>

①BOD	河川水の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
②COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑤全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥DO（溶存酸素）	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦SS（浮遊物質）	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川水の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 3.1 BOD(分析による水質調査結果)

各河川とも上流のほうは 2mg/L 以下となっていますが、市街地を流れる河川などで 3mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

3mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は流域全体の 9 割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 3.2 COD(分析による水質調査結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

5mg/L未満の比較的良好な水質が占める割合は流域全体の8割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。

pH7 が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。



図 3.3 pH(分析による水質調査結果)

河川では一般的に7付近の中性で、河川の観測値の多くが7付近となっています。河川の一部の地点では8以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海のpHは一般的に8前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は8以上となっています。

全窒素

水中の窒素の量を示します。

窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 3.4 全窒素(分析による水質調査結果)

多くの河川の中下流部で 0.6 mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。0.6mg/L 未満の比較的 low 濃度な水質は、4 割程度を占めています。

全リン

水中のリンの量を示します。

リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。



図 3.5 全リン(分析による水質調査結果)

全窒素と同様に、多くの河川の中下流部で 0.05 mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.05mg/L 未満の比較的低濃度な水質が占める割合は、5 割程度で昨年度よりも多くなっています。

DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。

溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。



図 3.6 DO(分析による水質調査結果)

一級河川（太い青線）では比較的高いですが、市街地を流れる中小河川で低い箇所も見られ、酸素不足による水中の生物への影響や水の腐敗（におい）などが懸念されます。

（※海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。）

SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 3.7 SS(分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L以下となっており、河川の環境基準A類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。
水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。



図 3.8 大腸菌群数(分析による水質調査結果)

1000MPN/100ml 以上の値を観測している地点が見られます。し尿等による人為的由来によるものの他に、自然の土壌由来のものが含まれる場合もあるため、継続した監視が必要と考えられます。

3.2 簡易水質テスト結果

参加者の方々には、簡易水質テストとして以下の項目を調査していただきました。

<p><モニタリング調査項目></p> <p>水温、COD（化学的酸素要求量）、$\text{NH}_4^+\text{-N}$（アンモニウム態窒素）、$\text{NO}_2^-\text{-N}$（亜硝酸態窒素）、$\text{NO}_3^-\text{-N}$（硝酸態窒素）、$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$（りん酸態りん）、天気、水のきれいさ（色、にごり、におい）、水の量（量、速さ）、ごみの状況（場所、量）、生き物の状況（種類、量）、植物の状況（場所、量、種類）</p>

調査項目の内、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （りん酸態りん）の結果を図 3.9～図 3.13 に示しました。

また、見た目の水のきれいさを5段階で示していただいた結果を図 3.14 に示しました。

<水質指標が示すもの>

水質指標	水質指標が示すもの
① COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$	窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの発生原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり、濃度が高い場合、生活排水や工場排水、あるいは田畑から肥料分が流れて出ていると考えられます。
③ $\text{NO}_2^-\text{-N}$	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなる場合があります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つであり生物の栄養素となります。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高く、汚れた水は $\text{NH}_4^+\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が10mg/L以下に設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸などにより供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの発生原因となります。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。
汚れるにつれて値が大きくなります。



図 3.9 COD(簡易水質テスト結果)

伊勢湾奥の市街地を流れる河川では、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。一方、伊勢湾口や三河湾沿岸では、5mg/L未満の地点が多く、昨年度と比較して改善傾向がみられます。

NH₄⁺-N (アンモニウム態窒素)

窒素はりんと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。NH₄⁺-Nは、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。

0.5mg/L以上になると、生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えないとされています。



図 3.10 NH₄⁺-N(簡易水質テスト結果)

庄内川流域において0.5mg/L以上の値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

流域全体としては0.5mg/L未満の割合が経年的に6~8割程度を占めており、比較的低濃度であるといえます。

NO₂⁻-N (亜硝酸態窒素)

NO₂⁻-Nは、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなることがあります。



図 3.11 NO₂⁻-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川において、0.007mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.007mg/L未満の比較的低濃度な水質が占める割合は、経年的に3～4割程度で推移しています。

NO₃⁻-N (硝酸態窒素)

NO₃⁻-Nは、窒素の主な形態の一つであり生物にとっての栄養素となります。きれいな水はNO₃⁻-Nの割合が高く、汚れた水はNH₄⁺-Nの割合が高くなります。ただし、NO₃⁻-Nが多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO₂⁻-NとNO₃⁻-Nの合計が10mg/L以下と設定されています。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 3.12 NO₃⁻-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川において、1.2mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

1.2mg/L未満の比較的低濃度な水質の占める割合は8割程度と高くなっています。

PO₄³⁻-P (りん酸態りん)

PO₄³⁻-P は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に PO₄³⁻-P が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

りんのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 3.13 PO₄³⁻-P(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川において、0.11mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.11mg/L 未満の比較的低濃度な水質の占める割合は、7割程度となっています。

水のきれいさ

調査を実施したときの水のきれいさについて、5段階（（悪い）1・2・3・4・5（良い））で評価しています。調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 3.14 見た目の水のきれいさ

市街地を流れる河川の一部や、湾奥部でも3以上の比較的水がきれいという評価がされており、見た目の印象は、COD等の調査結果よりもやや良い結果となっています。

また、一部の観測地点において、3未満の比較的悪い評価が見られますが、市街地付近でも4～5の評価などきれいな水の評価がみられます。

3.3 一斉モニタリングの状況

【団体名：愛知県岐南町】

調査日：平成 29 年 8 月 4 日

【境川】



境川の上流を望む



下流を望む



水面状態



気温28.3℃ 水温27.0℃



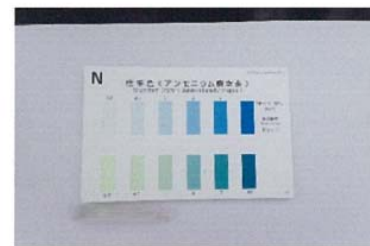
採水(濁度 臭気調査)



ハケットによる水質調査状況



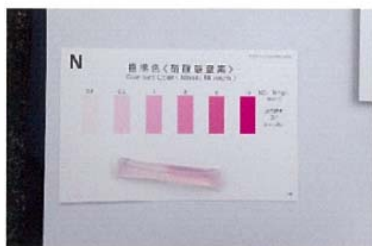
COD (8mg/L)



NH4 (0.2mg/L)



NO2 (0.005mg/L)



NO3 (0.2mg/L)



PO4 (0.2mg/L)



アメンボウ生息



調査員



【団体名：伊勢湾流域圏一斉モニタリング事務局】

調査日：平成 29 年 8 月 2 日



地点①



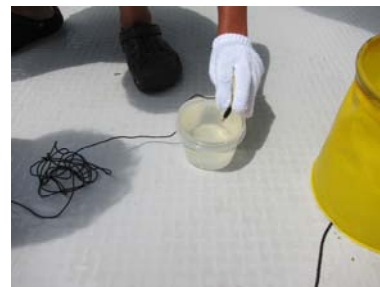
地点②



地点③



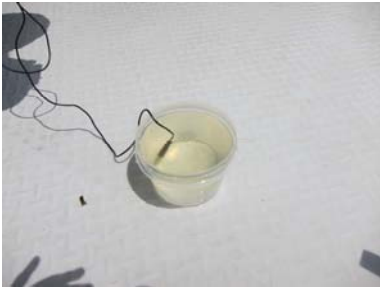
地点④



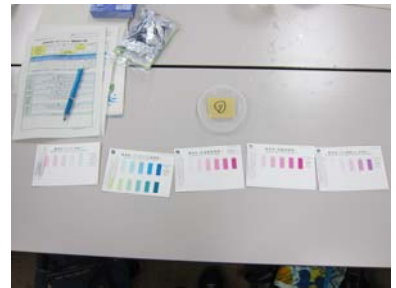
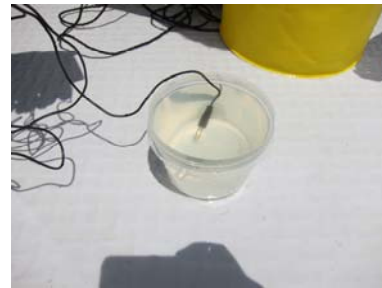
地点⑤



地点⑥



地点⑦



【団体名：岐阜県神戸町】

調査日：平成 29 年 8 月 2 日

【平野井川】



【菅野川】



【奥川】



【団体名：岐阜県土岐市】

調査日：平成29年7月21日



妻木川上流（鶴里町中沢地区）



妻木川下流（土岐津町御幸橋下流）



肥田川上流（鶴里町濃南小学校駐車場付近）



肥田川下流（肥田町肥田橋付近）



水生生物調査の様子（鶴里町濃南小学校駐車場付近）



パックステストの様子

【団体名：岐阜県御嵩町】

調査日：平成 29 年 7 月 26 日



調査地点の当日の状況



調査実施状況

【団体名：第四管区海上保安本部】

調査日：平成 29 年 7 月 31 日、8 月 2 日、3 日、10 日、11 日

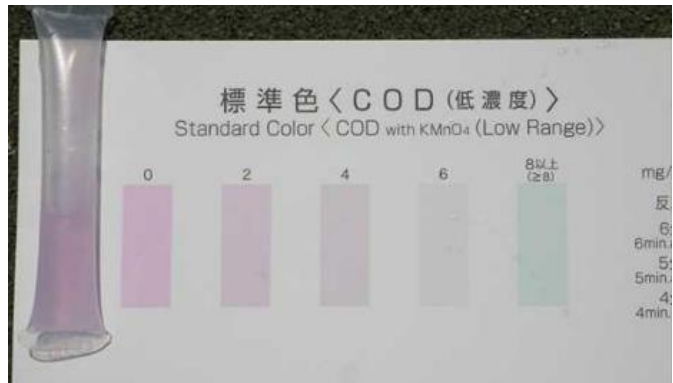
【伊良湖港】



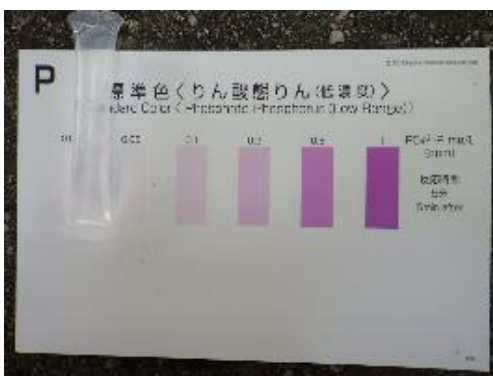
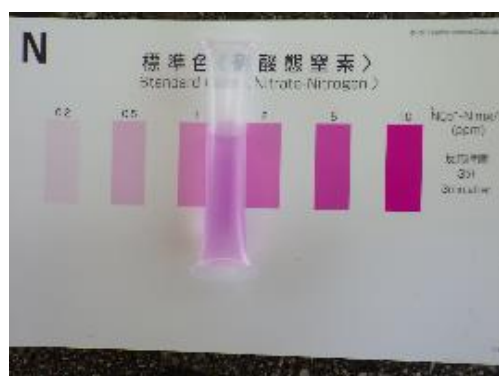
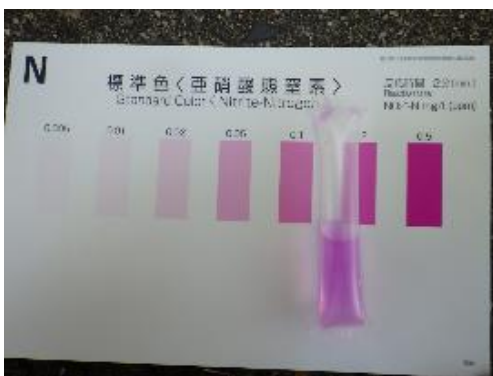
【衣浦港】



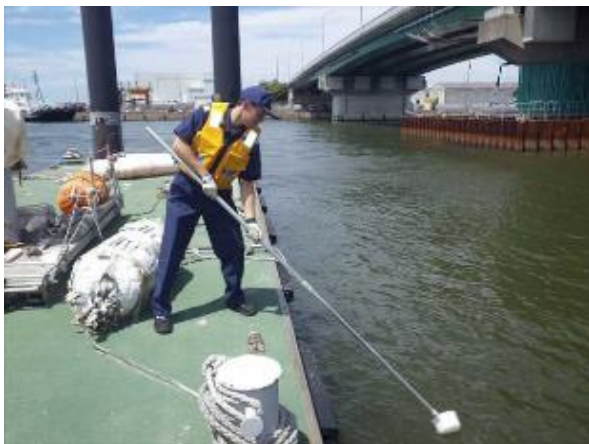
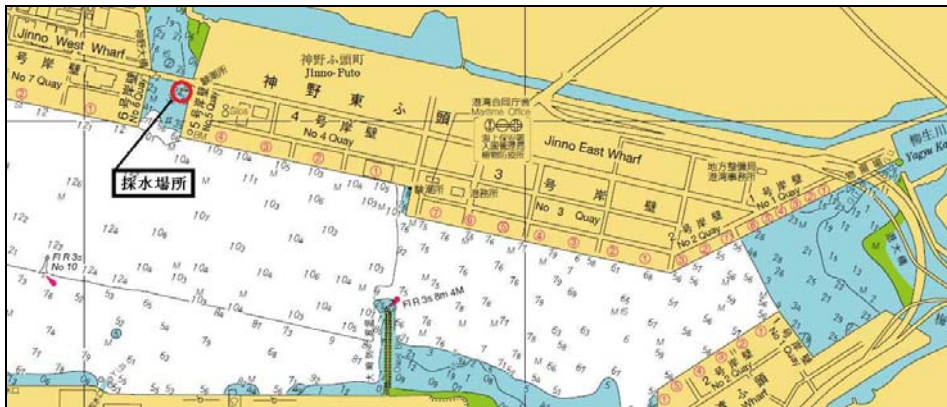
【常滑港】



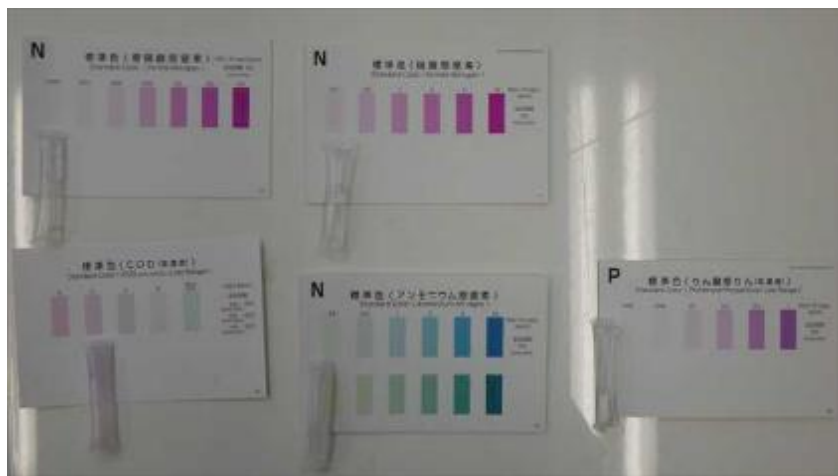
【名古屋港】



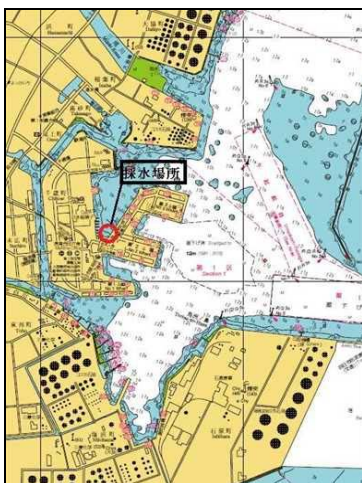
【三河港】



【鳥羽港】



【四日市港】



【団体名：「あいちの海」グリーンマップ】

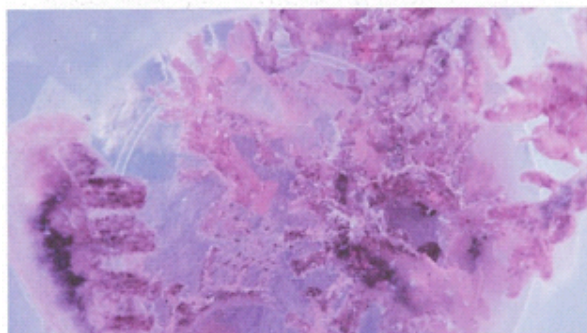
調査日：平成 29 年 8 月 8 日

水質調査&ウミウシ調査

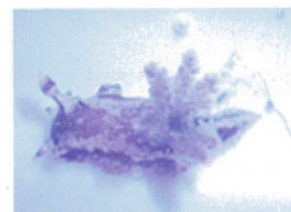
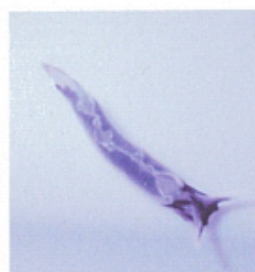
南知多町長谷崎アマモ場



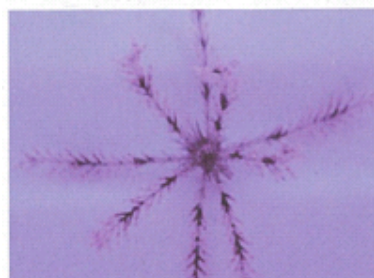
調査地点写真とウミウシ調査をするメンバー



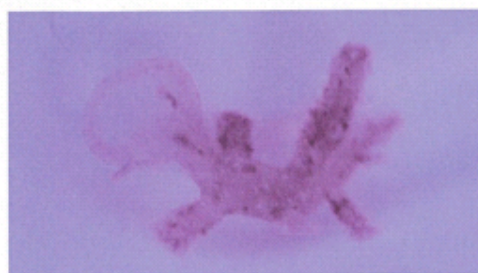
たくさんいたメリベウミウシ {3~5cm}
おそらく世代交代の時期



アマモに付いていた小型ウミウシ
イズミミドリガイ クロコソデウミウシ



偶然採れたウミシダ



口を開けたメリベウミウシ

【団体名：イーツワン（環境 21 期会）】

調査日：平成 29 年 8 月 3 日

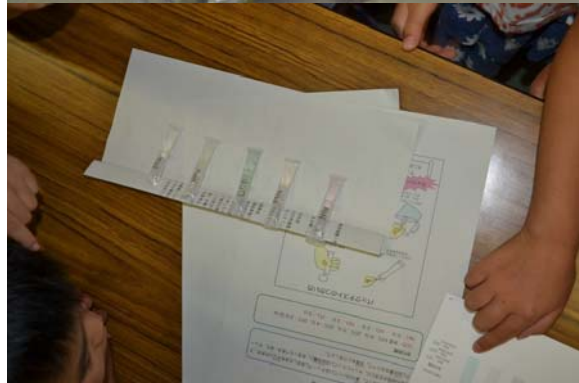
【堀川】



【団体名：稲津公民館 お兄さんお姉さんと勉強のお部屋】

調査日：平成 29 年 8 月 9 日、10 日

【萩原川】



【小里川用水】



【団体名：内山川ホタルを守る会】

調査日：平成29年7月30日

【内山川】



内山川（上境坪橋上）川の状況



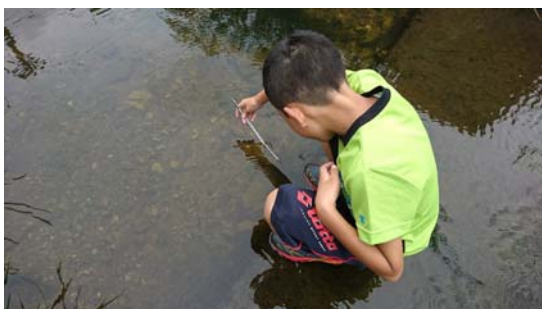
内山川（森下橋下）生き物調査



内山川（森下橋下）川の状況



内山川パックテスト比色



内山川調査



【団体名：NPO法人伊勢湾フォーラム】

調査日：平成 29 年 8 月 9 日

【中川運河いろは橋】



透明度調査



採水器による水採取



上層の水温調査



下層の水温調査



パックテストの様子

【中川運河小栗橋】



透明度調査



採水器による水採取



上層の水温調査



下層の水温調査



パックテストの様子

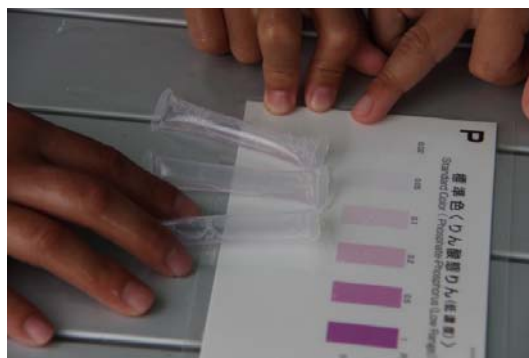
【団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会】

調査日：平成 29 年 8 月 10 日

【揖斐・長良川】



調査場所は国道 23 号線伊勢大橋上流約 500m の地点



真剣な目をして水質検査



ごそ網で魚を獲る 網をあげる



参加した桑名市立伊曾島小学校の児童

【団体名：扇川を愛する緑の会】

調査日：平成 29 年 8 月 6 日

【扇川上流（大地）】



池の水面を覆うヒシ



扇川への流出口付近(採水地点)
池の水面を覆うヒシ



扇川への流出口付近（扇川側）
暑さで腐食したヒシのヘドロ
かなりの腐食臭

【扇川（干潮時）】



扇川上流



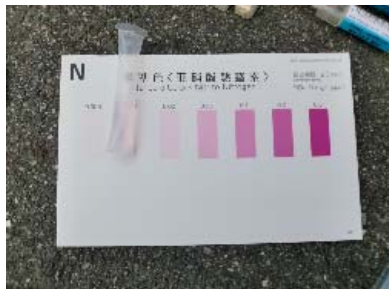
扇川下流



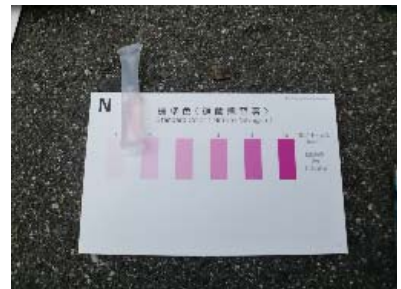
COD（低濃度）



NH₄・P₀₄



NO₂



NO₃



pH



モニタリング状況



コイ（体長 40～60cm）20～30 匹

【扇川（満潮時）】



扇川上流



扇川下流



浮遊物（泡？、街路樹のエンジュの花）



浮遊物（街路樹のエンジュの花、落ち葉）



モニタリングの傍らで親子で釣り



セイゴ 体長 6cm



セイゴ 体長 10cm



釣果 セイゴ2匹

【団体名：大井まちづくり協議会 スナメリの海】

調査日：平成 29 年 8 月 6 日

【大井川：大井小学校前】



ひじりざき とびがざき
【聖崎・鳶ヶ崎】



かいたがわ
【海田川】



【団体名：岡田ファミリー】

調査日：平成29年7月29日、8月3日

【矢田川（ふれあい橋下流）】



【団体名：小里川ダム里山教室】

調査日：平成 29 年 8 月 1 日

【土岐川：明德橋】



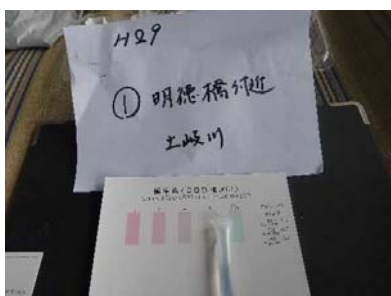
H29 年度モニタリング調査隊 7 名



明德橋上流方面



明德橋下流方面



化学的酸素要求量 COD
6mg/L*下流域評価



アンモニウム態窒素
0.2mg/L*きれい



亜硝酸態窒素
0.005mg/L*きれい



硝酸態窒素
0.2mg/L*通常より少ない



りん酸態りん
0.02mg/L*きれい



水質 PH 検査
7.0 中性



水質検査員



水のきれいさ 4 評価

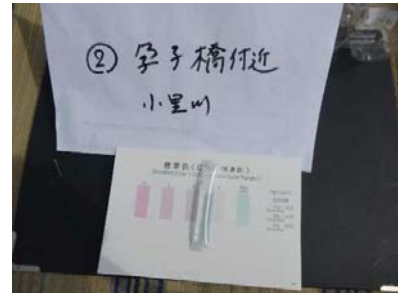
【小里川：^{ほらみこぼし} 孕子橋】



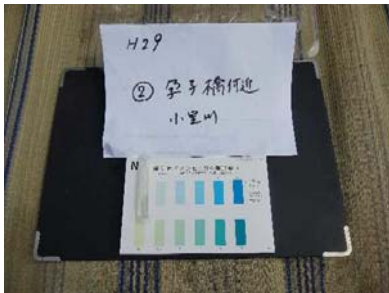
孕子橋小里川上流方面



孕子橋小里川下流方面



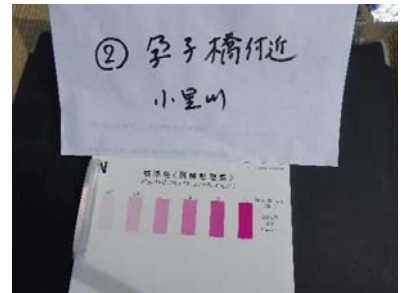
化学的酸素要求量 COD
6mg/L* 下流域評価



アンモニウム態窒素
0.1mg/L* 普通



亜硝酸態窒素
0.005mg/L* ほぼきれい



硝酸態窒素
0.1mg/L* 通常より少ない



りん酸態りん 0.1mg/L* ほぼきれい



投網で調査



エビ、シラハエ、ムツ、
ヨシノボリ、アカザ



オオヒラタヤゴとサワガニ



タモでガサガサ調査



専用タモでアシのガマをガサガサ

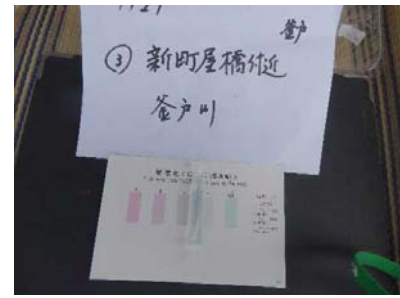
【釜戸川：新町屋橋】



新町屋橋釜戸川上流方面



新町屋橋釜戸川下流方面



化学的酸素要求量 COD
5mg/L*川の下流評価



アンモニウム態窒素
0.2mg/L*きれい



亜硝酸態窒素
0.005mg/L*ややきれい



硝酸態窒素
0.2mg/L*通常より少ない



りん酸態りん
0.05mg/L*きれい



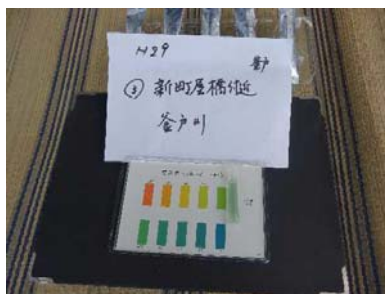
川遊びしていた子供も調査に協力



投網で捕獲:今年は鮎がない!



大きなアカザを捕獲



この地点も pH7.0 であった

【佐々良木川：上平橋】



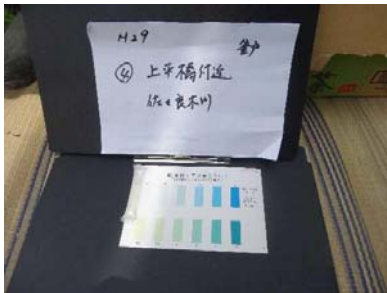
上平橋佐々良木川上流方面



上平橋佐々良木川下流方面



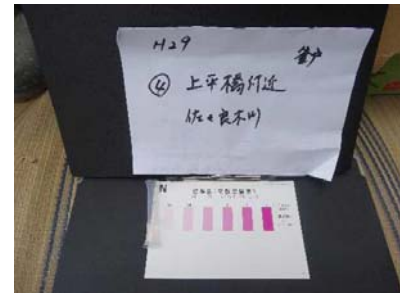
化学的酸素要求量 COD
6mg/L*下流域評価



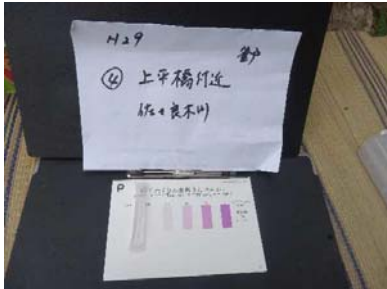
アンモニウム態窒素
0.2mg/L*きれい



亜硝酸態窒素
0.01mg/L*きれい



硝酸態窒素
0.2mg/L*通常より少ない



りん酸態りん
0.05mg/L*きれい



カワニナ、ヤゴ



上平橋 pH7.0

【団体名：各務原市生活学校】

調査日：平成 29 年 8 月 2 日

【新境川】



【大安寺川】



【てっぽう川】



パケットテスト

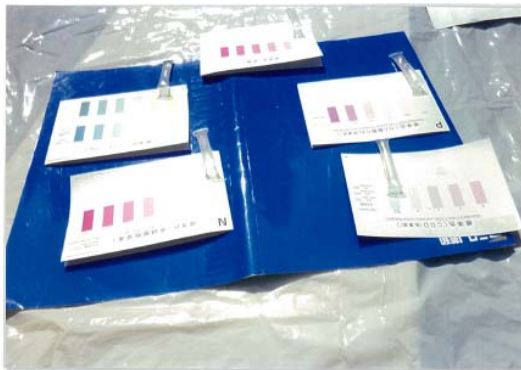
【団体名：金山町生活学校】

調査日：平成 29 年 8 月 1 日、4 日、10 日

才がたかわ
【菅田川】



【飛騨川】



【団体名：可児市めだかの楽校】

調査日：平成 29 年 8 月 5 日

【可児川】



川になにがいたのか？虫合わせ



カワゲラウォッチング

【団体名：川ナビ歩こう会】

調査日：平成29年7月27日、8月9日

【矢田川：矢田川橋下流】



【堀川：稚児宮人道橋】

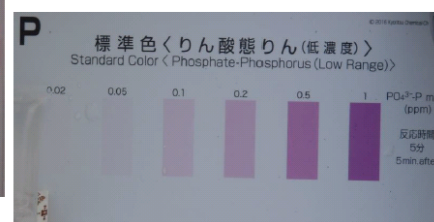
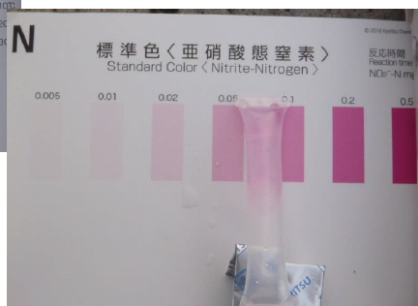
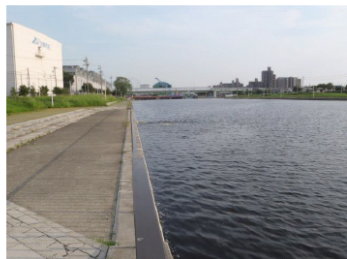


【団体名：港栄第一エコクラブ】

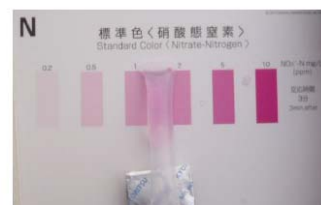
調査日：平成29年7月29日

【中川運河】

左岸いろは橋



中川閘門下流



【団体名：十四川と環境を守る会 十四川部門】

調査日：平成 29 年 8 月 4 日

【十四川河口】



十四川河口「採水場所」豊栄橋より西方を望む



採水場所「十四川河口の豊栄橋」



試験用の水をくみ取るメンバー

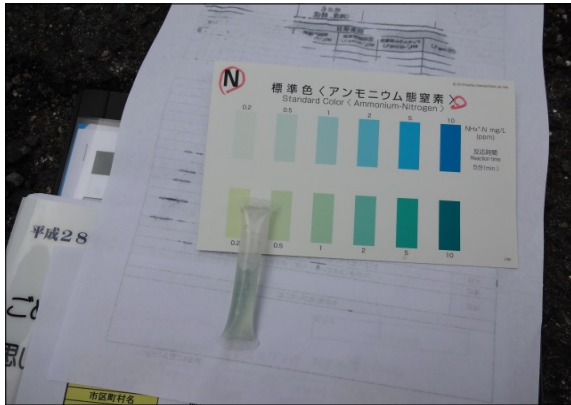


水温の測定



メンバーによる水質調査実施

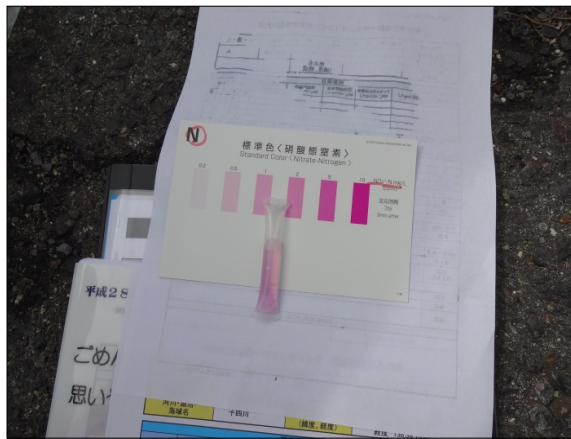




左・・・十四川の水 右・・・水道水



アンモニウム態窒素検査



硝酸態窒素検査

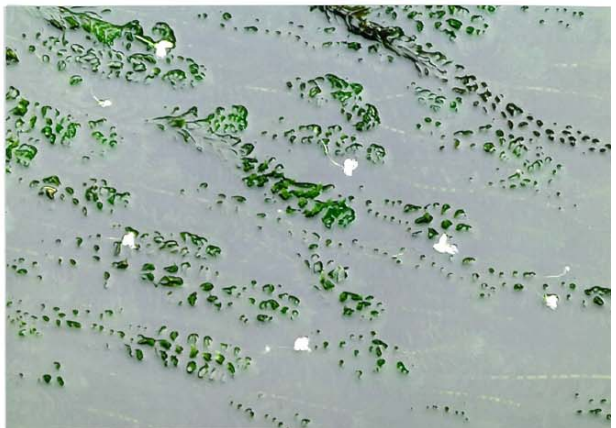


調査結果の記入

【団体名：スティッチ】

調査日：平成 29 年 8 月 2 日

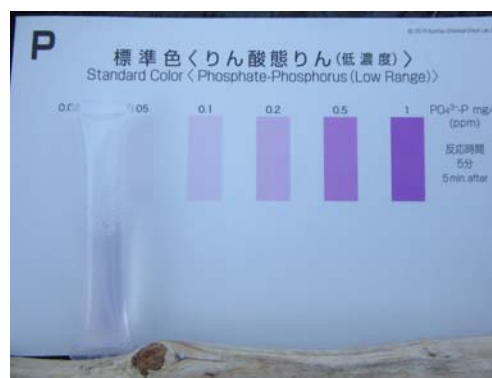
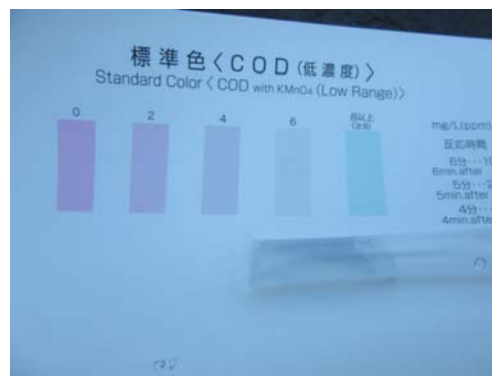
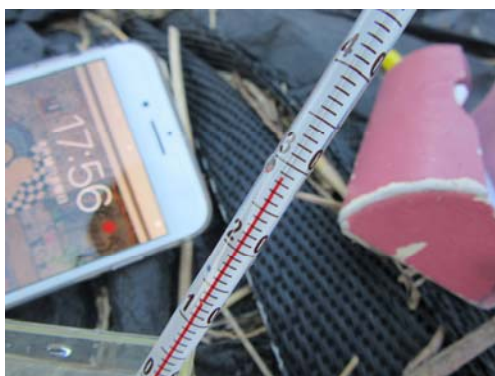
か せ だ が わ
【加瀬田川】



【団体名：高松干潟を守ろう会】

調査日：平成29年8月18日

あさけがわ
【朝明川河口付近】



【高松海岸】



【団体名：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会】

調査日：平成 29 年 8 月 4 日

【庄内川・新川】



ヨシの衰退 調査中



庄内川 ヨシの衰退



右岸側捨て石には、無数のベンケイガニがいる



右側が新川 左側が庄内川



橋の中央部より



橋の中央部より右岸側



橋の中央部より左岸側（宝神水処理センター）



橋の中央部より鳥が2羽飛んでいる



新川左岸側 今年より庄内川と新川とでヨシの比較（土壌）調査開始



新川右岸側 早朝より魚釣りが来ている
(朝6時過ぎ)夕方になるとウナギ釣りも多く来る

【団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ】

調査日：平成 29 年 8 月 26 日

【西鹿乗川】

別所団地



調査地点から 15m 上流
川底はオオカナダモがびっしり
川底に段差があるため白くあわだっている



調査地点から 50m 上流

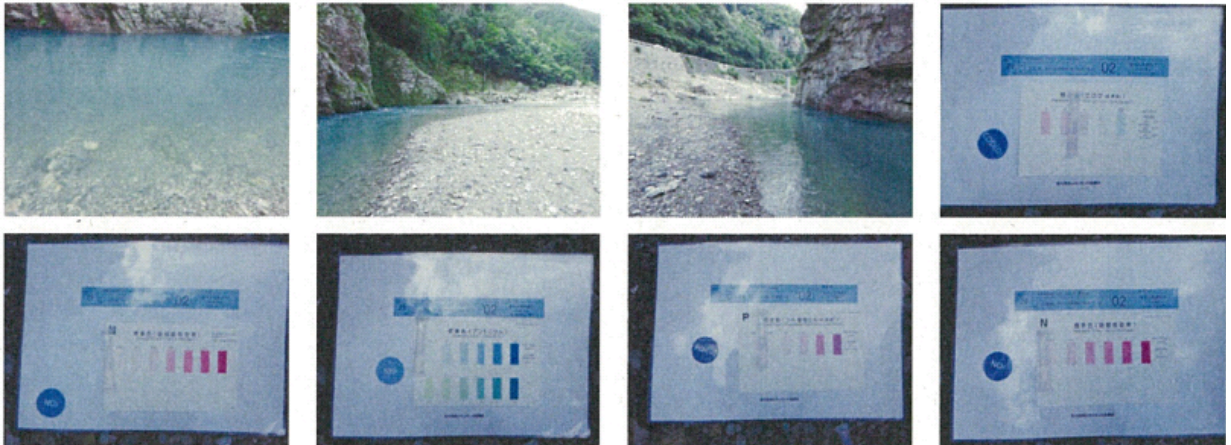
【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会】

調査日：平成29年7月26日、8月2日、3日、6日、9日

【宮川】

宮川上流域

宮川上流漁協下（宮川：大台町滝谷）



奥伊勢フォレストピア付近（宮川：大台町菌）

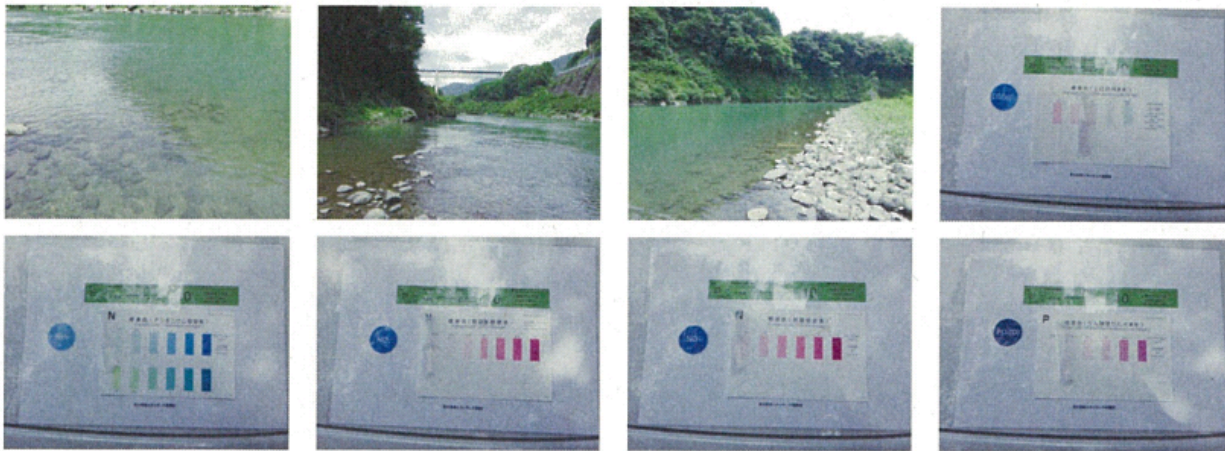


山海の郷紀勢下（大内山川：大紀町崎）

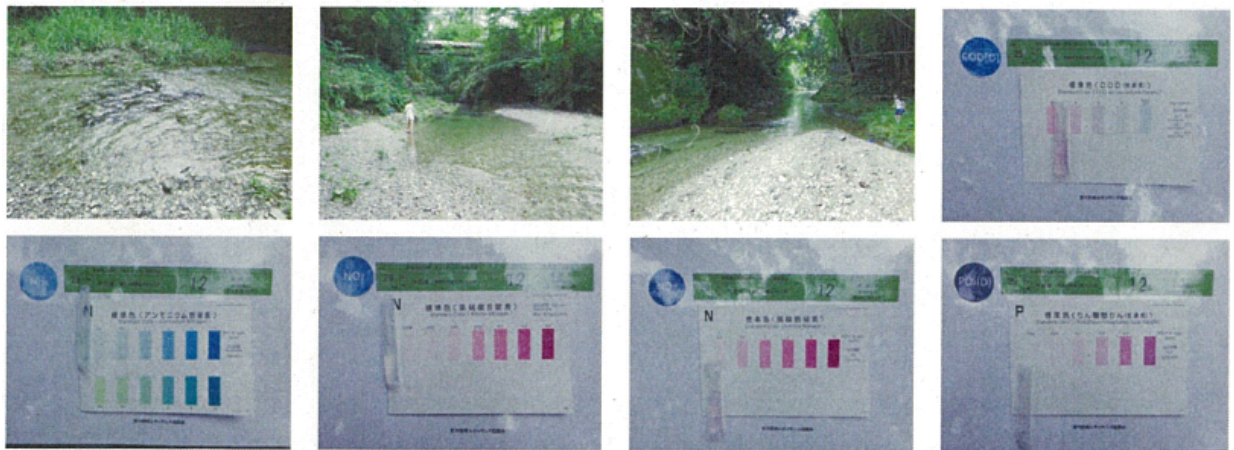


宮川中流域

三瀬谷ダム下流（宮川：大紀町三瀬川）



高橋下（濁川：多気町色太）

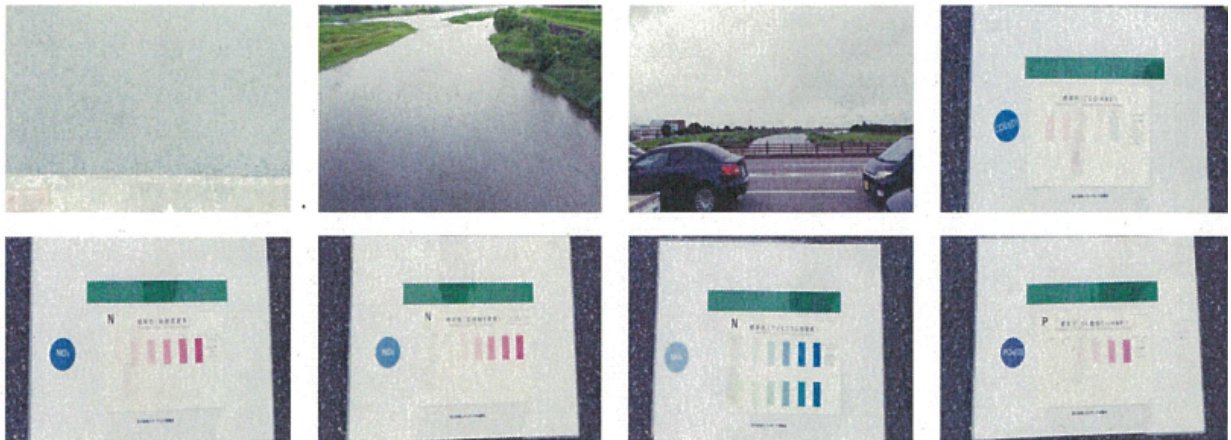


西垣内フリーバス停下（一之瀬川：度会町栗原）



宮川下流域

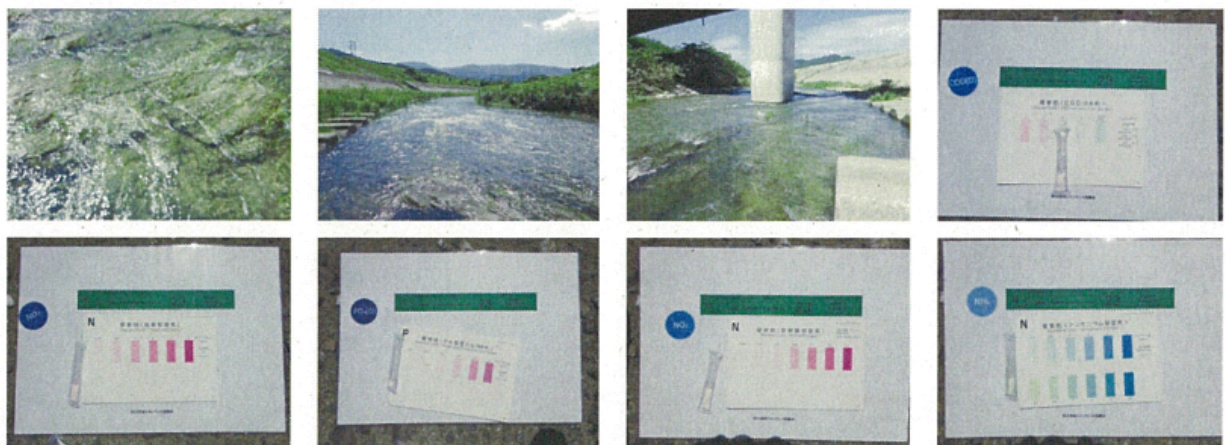
度会橋下の流心（宮川：伊勢市中島1丁目）



新橋下 ^{いすずがわ}（五十鈴川：伊勢市宇治中之切町）



馬淵橋下（横輪川：伊勢市津村町）



【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会】

調査日：平成29年7月29日

【庄内川】

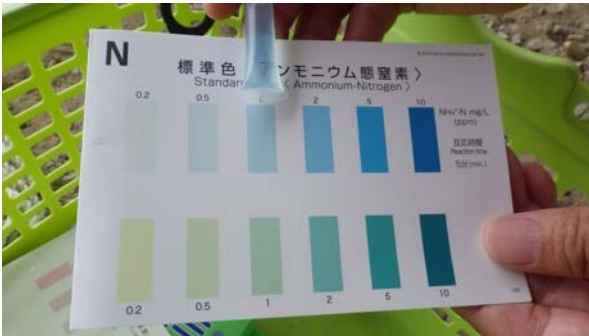
庄内川橋



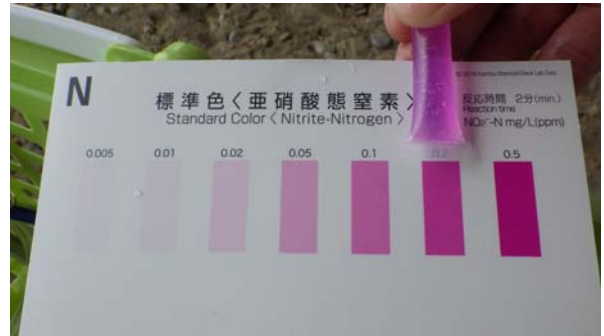
調査地点状況



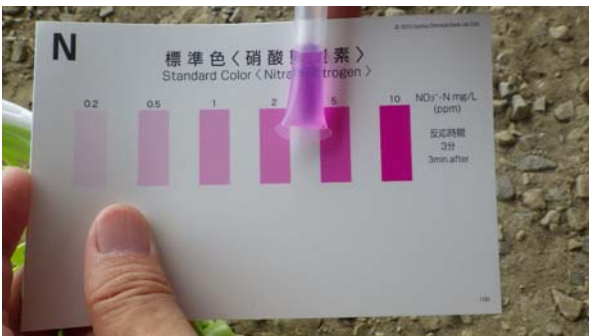
比色 (COD)



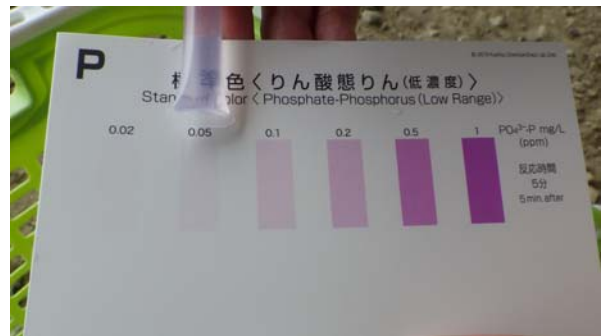
比色 (アンモニウム態窒素)



比色 (亜硝酸態窒素)



比色 (硝酸態窒素)



比色 (リン酸態リン)

【庄内川】

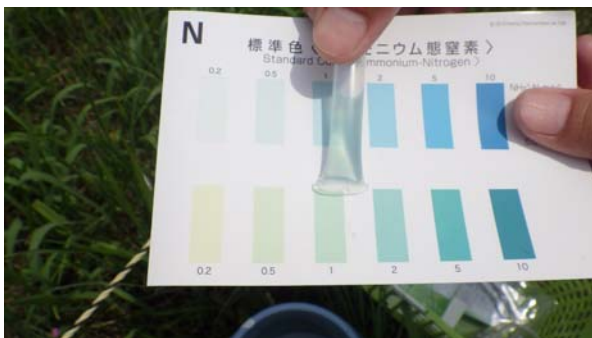
みずわけばし
水分橋



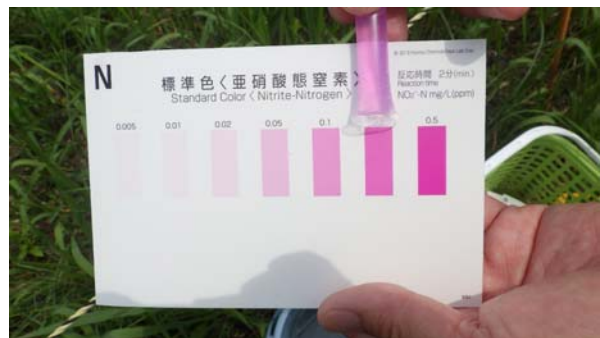
調査地点状況



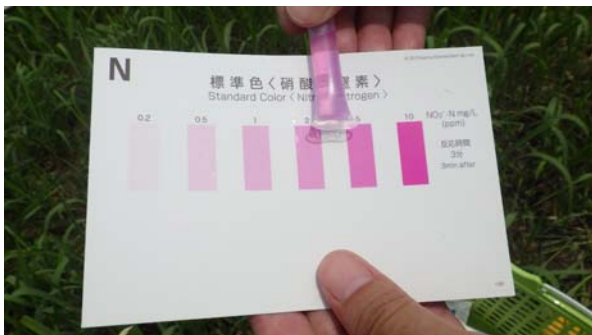
比色 (COD)



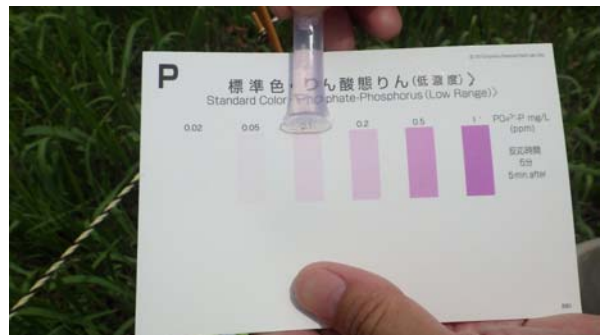
比色 (アンモニウム態窒素)



比色 (亜硝酸態窒素)



比色 (硝酸態窒素)



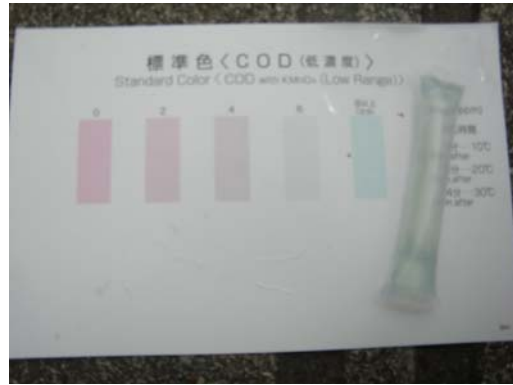
比色 (リン酸態リン)

【庄内川】

八田川合流点橋



調査地点状況



比色 (COD)



比色 (COD) 高濃度用



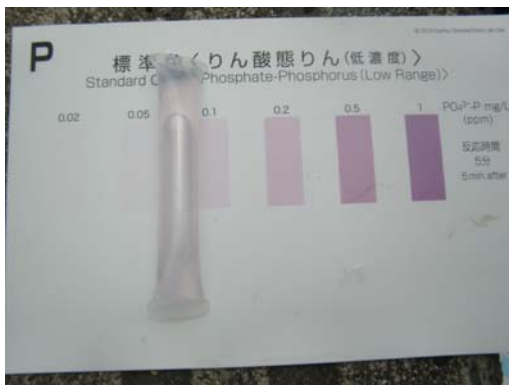
比色 (アンモニウム態窒素)



比色 (亜硝酸態窒素)



比色 (硝酸態窒素)



比色 (リン酸態リン)

【庄内川】

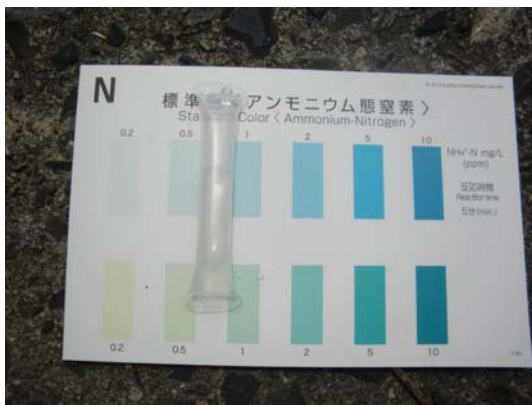
松川橋



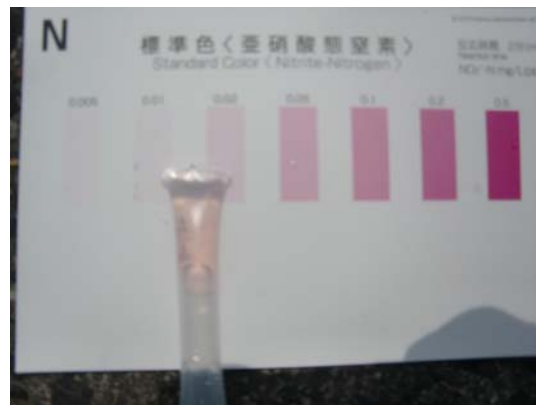
調査地点状況



比色 (COD)



比色 (アンモニウム態窒素)



比色 (亜硝酸態窒素)



比色 (硝酸態窒素)

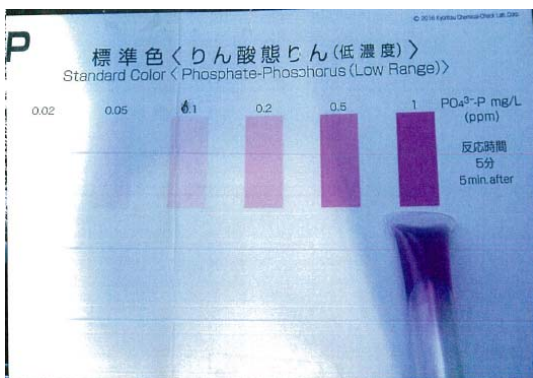
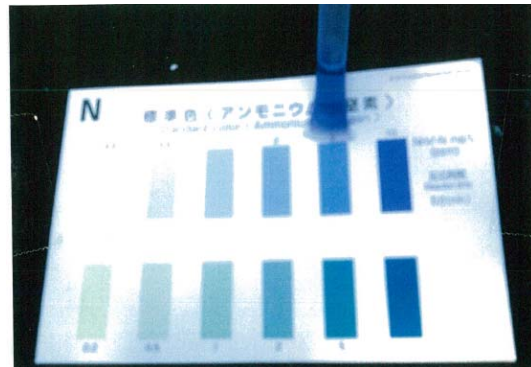
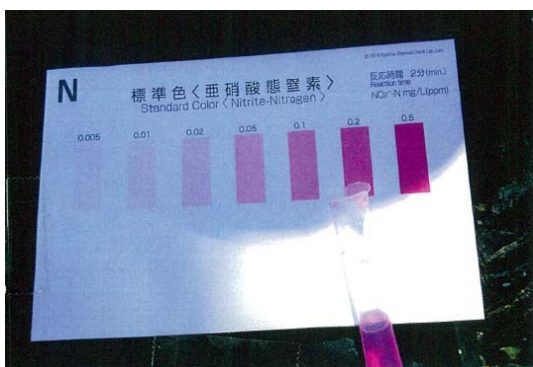
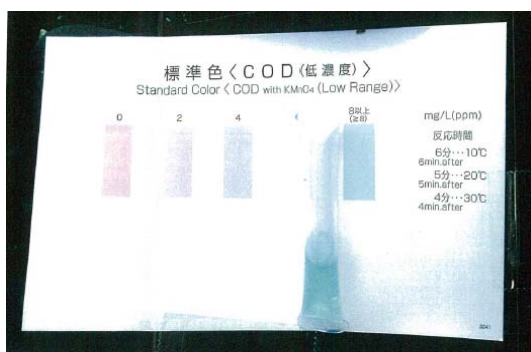


比色 (リン酸モノリン)

【団体名：養老町生活と環境を考える会】

調査日：平成 29 年 8 月 2 日

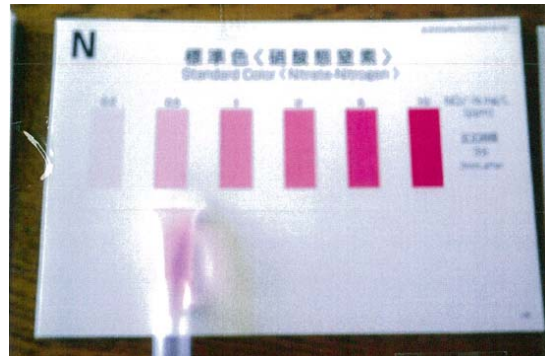
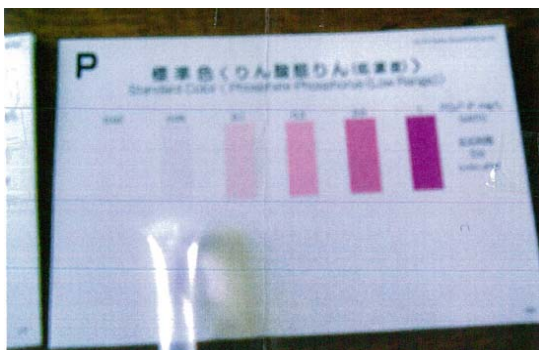
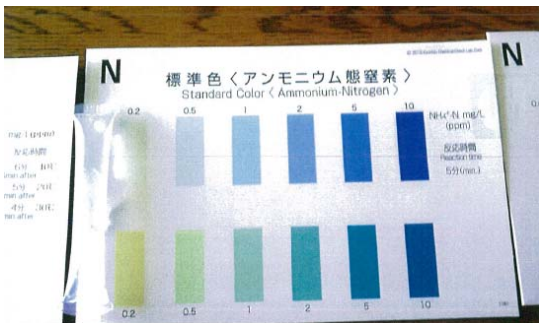
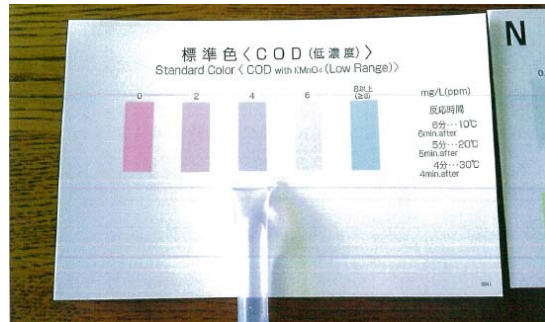
【牧田川】



【小畑川】



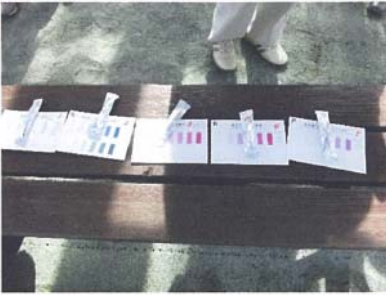
白ハエ



【団体名：四つ葉会】

調査日：平成 29 年 8 月 1 日

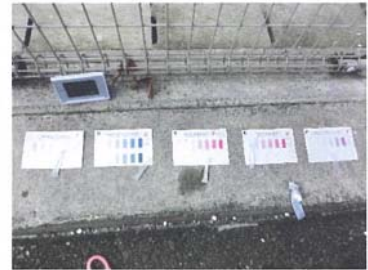
【東川】



【中川】



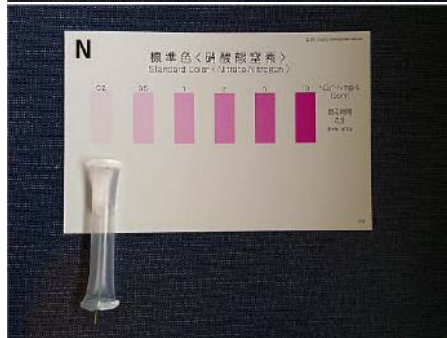
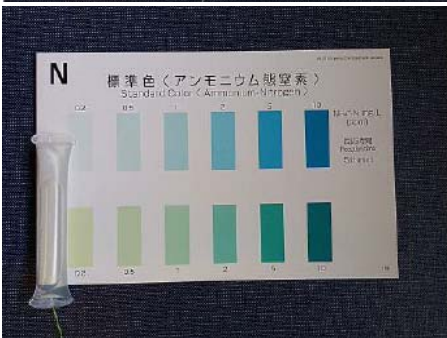
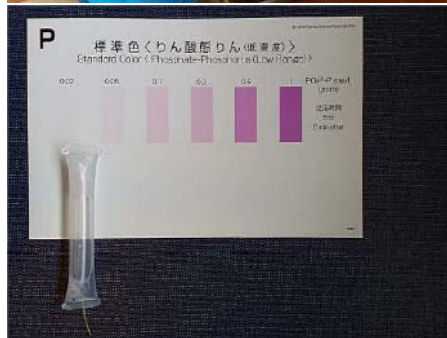
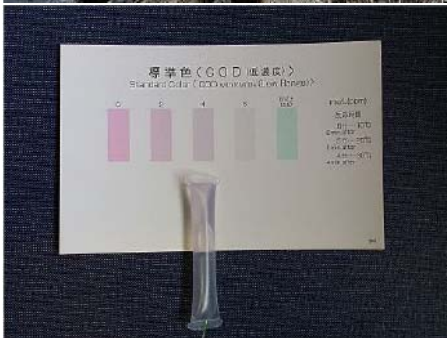
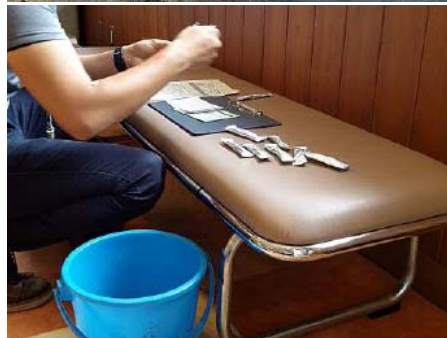
【杭瀬川】



【団体名：レッ津！夢みなとプラン推進協議会】

調査日：平成 29 年 8 月 4 日

【岩田川】



【団体名：論田川を美しくする会】

調査日：平成 29 年 8 月 2 日





花だんによる水辺の景観の向上

【団体名：小塩通信株式会社】

調査日：平成 29 年 8 月 9 日

【長良川左岸】

鏡島大橋下



調査場所



調査場所水際



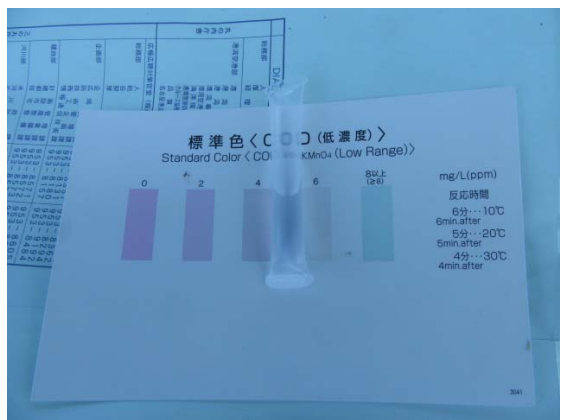
調査場所川面



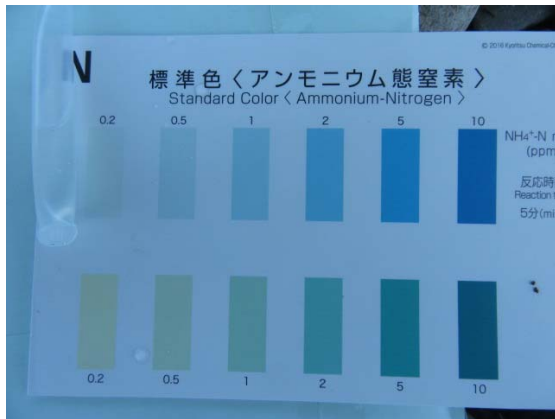
上流側



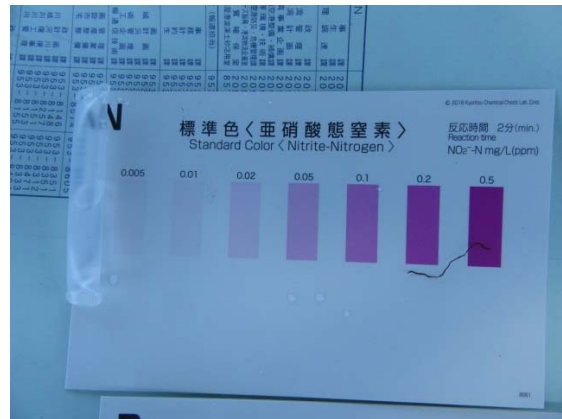
下流側



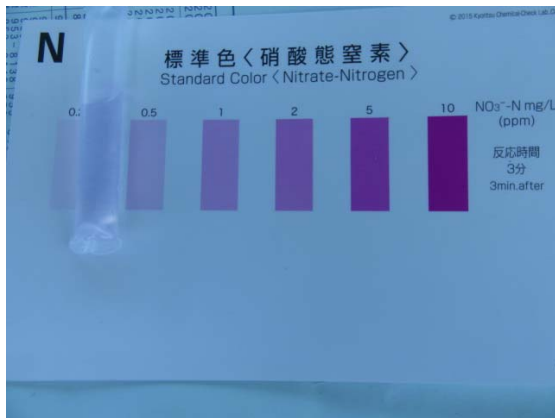
COD_1 回目



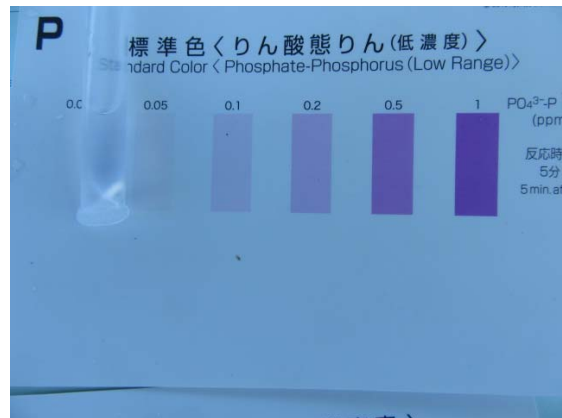
アンモニウム態窒素_1回目



亜硝酸態窒素_1回目



硝酸態窒素_1回目



リン酸態リン_1回目



活動者

【団体名：株式会社 地域環境計画】

調査日：平成 29 年 7 月 30 日、8 月 6 日

【堀川】

稚児宮人道橋



【香流川】

下川原橋上流



【団体名：神野建設株式会社】

調査日：平成 29 年 8 月 3 日

【渥美湾】



伊良湖



伊川津



白浜



六条潟

【三河湾】



海陽



西浦



濁り比較



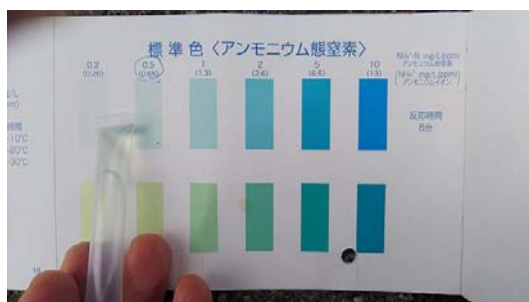
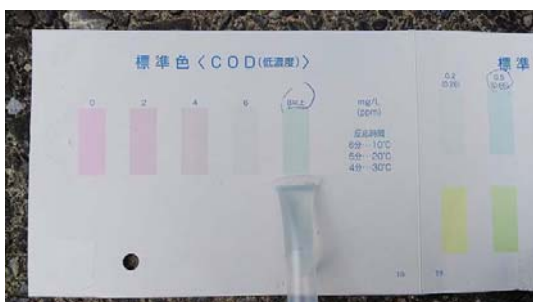
簡易テスト

【東芝プラントシステム株式会社】

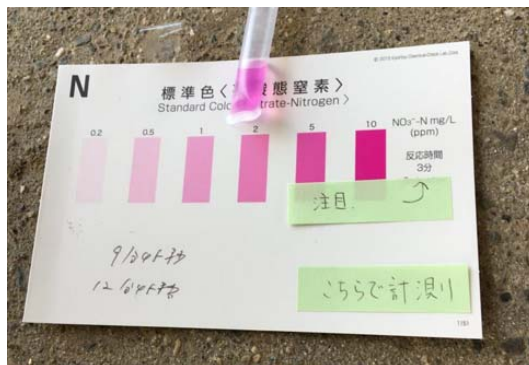
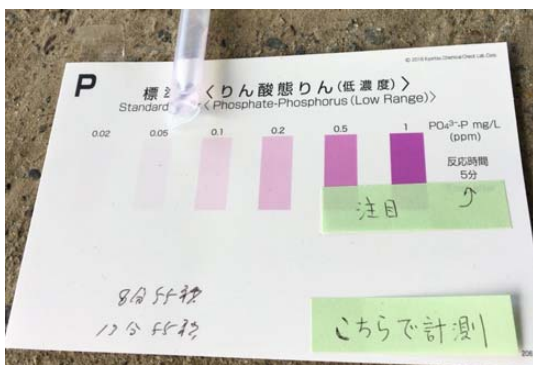
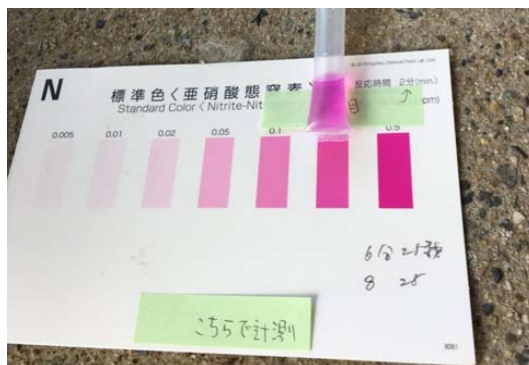
調査日：平成 29 年 8 月 2 日、3 日

【庄内川】

放流口付近



新名西橋付近



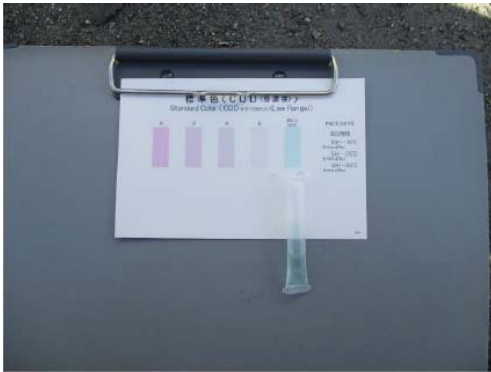
【名古屋港】



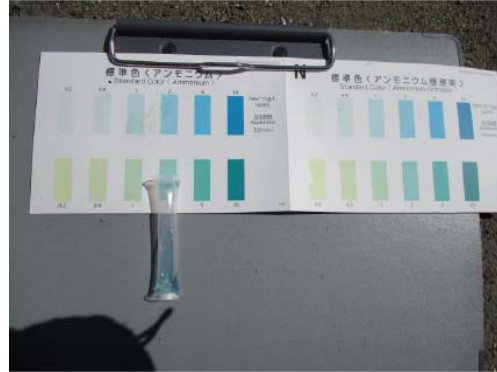
採水状況



(左：水道水、右：採取水)



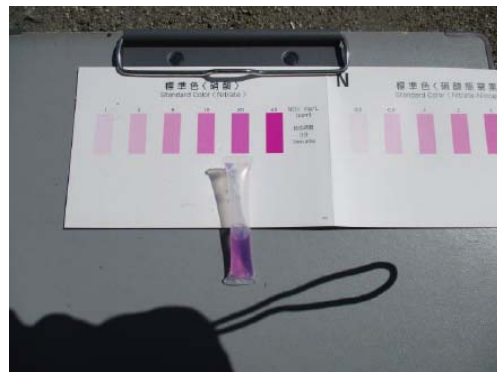
COD



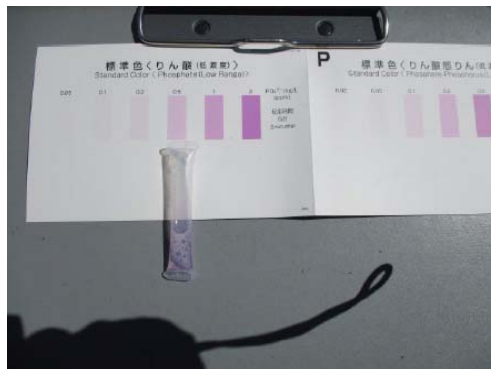
アンモニウム態窒素



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



リン酸態リン

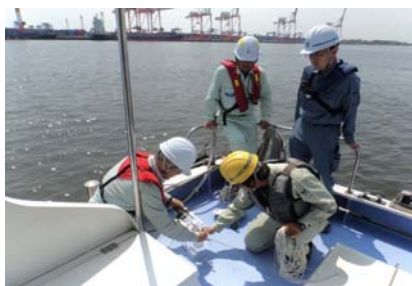
【団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会】

調査日：平成 29 年 7 月 28 日

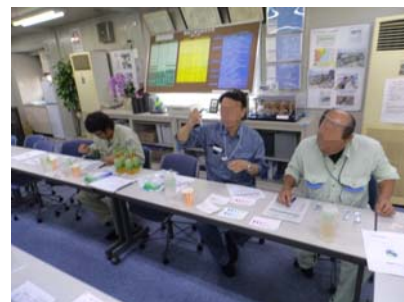
【名古屋港西部】



透明度調査



採水・水温



パックテスト

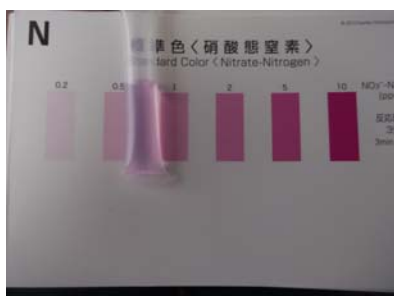
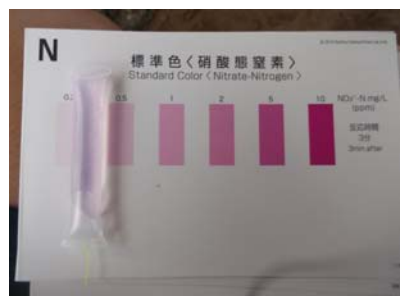
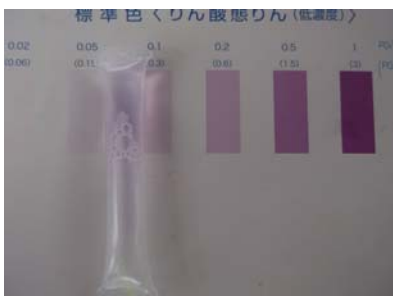
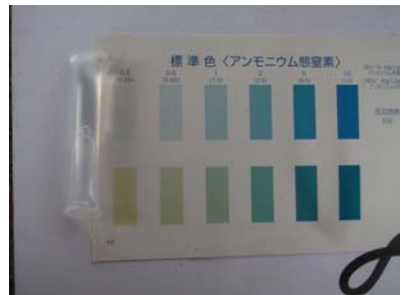
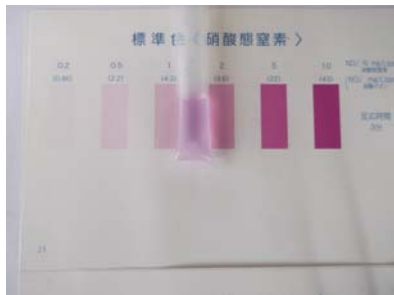
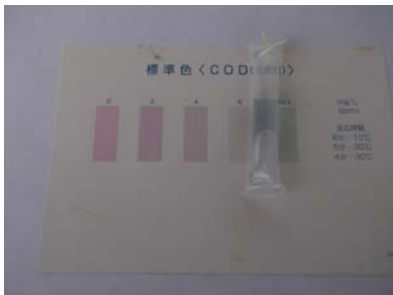
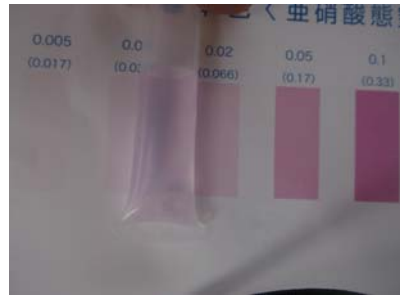
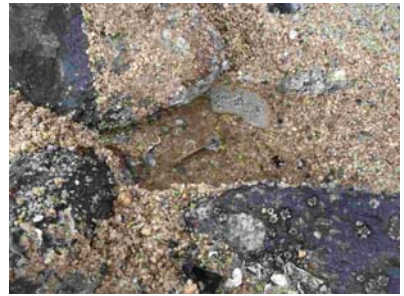


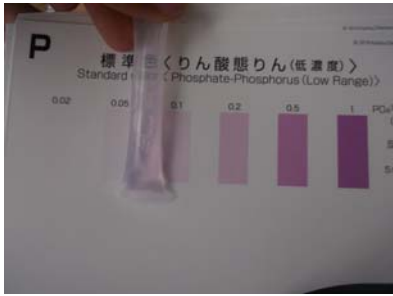
パックテスト完了

【団体名：四日市市立山手中学校】

調査日：平成 29 年 8 月 1 日

かいぞうかわ
【海蔵川】





3.4 ごみ調査の状況

【団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会】

調査日：平成 29 年 8 月 10 日

【揖斐・長良川】



漂着ごみの回収作業



きれいになりました



拾い集めた漂着ごみ



船に乗り川の濁りと浮遊ごみの確認、川から見た陸の様子を見る



上流部の出水で流下する流木、ごみ類

【団体名：高松干潟を守ろう会】

調査日：平成 29 年 8 月 18 日

【朝明川河口付近】



【高松海岸】



【団体名：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会】

調査日：平成 29 年 8 月 4 日

【庄内川・新川】



ヨシの中には無数のごみ



不法投棄されている

【団体名：養老町生活と環境を考える会】

調査日：平成 29 年 8 月 2 日

【小畑川】



缶やペットボトルが

【団体名：株式会社 地域環境計画】

調査日：平成 29 年 7 月 30 日

【堀川】

稚児宮人道橋



3.5 水生生物調査結果

【団体名：岐阜県土岐市】

調査日：平成 29 年 7 月 21 日

【妻木川上流】

調査団体名		土岐市生活学校(土岐市環境課)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに ()をつけて記入して下さい。		
市町村名		土岐市		調査参加人数	14 人	
指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	妻木川	
	2	ナミウズムシ		調査地点名	鶴里町中沢地区	
	3	カワゲラ類	○	昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4	サワガニ	●		調査日時	29 年 7 月 21 日 9 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	5	ナガレトビケラ類	○	天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	18.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ブユ類		川幅	約 3.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9	ヤマトビケラ類		水深	約 25 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
水質階級 II	11	イシマキガイ		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	13	カワナナ類	●		水質階級の判定 1. ○印と●印の個数 2. ●印の個数 3. 合計(1欄+2欄)	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	14	ゲンジボタル		この地点の水質階級は I です		<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
水質階級 III	15	コオニヤンマ	○	その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		
	16	コガタシマトビケラ類		魚類		
	17	ヒラタドROMシ類		・エビ	・シマドジョウ	
	18	ヤマトシジミ		・ヒゲナガカワトビケラ	・ヨシノボリ	
水質階級 IV	19	イソコツブムシ類		・	・小魚	
	20	タニシ類		・	・	
	21	ニホンドロソコエビ		・	・	
	22	シマイシビル		・	・	
水質階級 IV	23	ミズカマキリ		水草類	鳥類	
	24	ミズムシ		・	その他、気づいたこと	
	25	アメリカザリガニ		・		
	26	エラミミズ		・		
27	サカマキガイ		・			
28	ユスリカ類		・			
29	チョウバエ類		・			

【妻木川下流】

調査団体名		土岐市生活学校(土岐市環境課)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。		
市町村名		土岐市		調査参加人数	14 人	
指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	妻木川	
	2	ナミウズムシ		調査地点名	御幸橋下流	
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？	
	4	サワガニ	○		<input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した	
	5	ナガレトビケラ類			昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV	
	6	ヒラタカゲロウ類	●	<input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	調査日時	
	7	フユ類		29 年 7 月 21 日 10 時	開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	8	ヘビトンボ		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨	
	9	ヤマトビケラ類		調査時の天気をチェックして下さい		
	10	ヨコエビ類		水温	20.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
水質階級 II	11	イシマキガイ		川幅	約 5.0 m	
	12	オオシマトビケラ		水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)		
	13	カワナナ類	●	生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心	
	14	ゲンジボタル			<input type="checkbox"/> 上流から見て右岸	
	15	コオニヤンマ	○		<input type="checkbox"/> 上流から見て左岸	
	16	コガタシマトビケラ類		採取した場所をチェックして下さい		
17	ヒラタドROMシ類		水深	約 15 cm		
水質階級 III	18	ヤマトシジミ		採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	19	イソコツブムシ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	20	タニシ類		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上)	
	21	ニホンドロソコエビ			<input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm)	
水質階級 IV	22	シマイシビル		<input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	川底の状態	
	23	ミズカマキリ		<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い		
	24	ミズムシ		<input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート		
	25	アメリカザリガニ		<input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥		
水質階級の判定	26	エラミミズ		<input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	水のおい	
	27	サカマキガイ		水のにごり		<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない
	28	ユスリカ類				<input type="checkbox"/> においが感じられる
29	チョウバエ類		(ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)			
この地点の水質階級は				I です		
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)				魚類		
・ヒゲナガカワトビケラ				・アカザ		
・エビ				・ヨシノボリ		
・				・カマツカ		
・				・		
・				・		
水草類				鳥類		
・				その他、気づいたこと		
・						
・						
・						
・						
・						

【肥田川上流】

調査団体名		土岐市生活学校(土岐市環境課)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。		
市町村名		土岐市		調査参加人数	10 人	
指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	肥田川	
	2	ナミウズムシ	●	調査地点名	濃南小学校駐車場付近	
	3	カワゲラ類	○	昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか?	
	4	サワガニ	○		<input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	5	ナガレトビケラ類	○	調査日時	29 年 7 月 21 日 9 時	
	6	ヒラタカゲロウ類		開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	7	フユ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	8	ヘビトンボ		水温	21.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	9	ヤマトビケラ類		川幅	約 2.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	10	ヨコエビ類		生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
水質階級 II	11	イシマキガイ		水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	12	オオシマトビケラ		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	13	カワニナ類	○	流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	14	ゲンジボタル		川底の状態	<input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	15	コオニヤンマ			水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	16	コガタシマトビケラ類		水にごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている	
17	ヒラタドROMシ類		この地点の水質階級は I です			
水質階級 III	18	ヤマトシジミ				
	19	イソコツブムシ類				
	20	タニシ類				
水質階級 IV	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル				
	23	ミズカマキリ	●			
	24	ミズムシ				
水質階級判定	25	アメリカザリガニ				
	26	エラミミズ				
	27	サカマキガイ				
	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				
水質階級の判定			I	II	III	IV
1. ○印と●印の個数			4	1	1	
2. ●印の個数			1		1	
3. 合計(1欄+2欄)			5	1	2	0
この地点の水質階級は			I です			
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)			魚類			
・ヒゲナガカワトビケラ			・ドジョウ			
・タニガワカゲロウ			・カワムツ			
・ヤゴ			・			
・チラカゲロウ			・			
・タイコウチ			・			
水草類			鳥類			
・			その他、気づいたこと			
・						
・						
・						
・						
・						

【肥田川下流】

調査団体名		土岐市生活学校(土岐市環境課)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに()をつけて記入して下さい。		
市町村名		土岐市		調査参加人数	10 人	
指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	肥田川	
	2	ナミウズムシ		調査地点名	肥田町肥田橋付近	
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？	
	4	サワガニ			<input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した	
	5	ナガレトビケラ類	●		昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input checked="" type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV	
	6	ヒラタカゲロウ類	●	<input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	調査日時	
	7	フユ類		29 年 7 月 21 日 10 時	開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	8	ヘビトンボ		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨	
	9	ヤマトビケラ類		調査時の天気をチェックして下さい		
	10	ヨコエビ類		水温	25.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
水質階級 II	11	イシマキガイ		川幅	約 7.0 m	
	12	オオシマトビケラ		水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)		
	13	カワニナ類		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心	
	14	ゲンジボタル			<input type="checkbox"/> 上流から見て右岸	
	15	コオニヤンマ			<input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸	
	16	コガタシマトビケラ類		採取した場所をチェックして下さい		
	17	ヒラタドROMシ類	●	水深	約 20 cm	
	18	ヤマトシジミ		採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
水質階級 III	19	イソコツブムシ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	20	タニシ類		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上)	
	21	ニホンドロソコエビ			<input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm)	
	22	シマイシビル	○		<input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
水質階級 IV	23	ミズカマキリ		川底の状態	<input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い	
	24	ミズムシ			<input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート	
	25	アメリカザリガニ			<input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥	
	26	エラミミズ		<input checked="" type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他		
	27	サカマキガイ		水のおい	<input type="checkbox"/> においは感じられない	
	28	ユスリカ類			<input checked="" type="checkbox"/> においが感じられる	
	29	チョウバエ類			(ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		2	1	1	
	2. ●印の個数		2	1		
3. 合計(1欄+2欄)		4	2	1	0	
この地点の水質階級は				I です		
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)				魚類		
・チラカゲロウ				・ドジョウ		
・ヒゲナガカワトビケラ				・ヨシノボリ		
・				・		
・				・		
・				・		
水草類				鳥類		
・				その他、気づいたこと		
・						
・						
・						
・						
・						

【団体名：三重県津市（環境保全課）】

調査日：平成29年7月23日

【長野川】

調査団体名	津市	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名	津市	調査参加人数	35 人

指標生物（見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)						調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1	アミカ類				調査河川名	長野川	
	2	ナミウズムシ				調査地点名	津市稲葉町地内(稲初橋付近)	
	3	カワゲラ類	●			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した	
	4	サワガニ	○				調査日時	29年 7月 23日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	5	ナガレトビケラ類	●			天気	■ はれ □ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヒラタカゲロウ類	○			水温	25.5 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ブユ類				川幅	約 20.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	8	ヘビトンボ	○			生物採取場所	□ 川の中心 ■ 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9	ヤマトビケラ類					水深	約 15 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
	10	ヨコエビ類				以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
水質階級 II	11	イシマキガイ				流れのはやさ	□ 速い(毎秒60cm以上) □ 普通(毎秒30~60cm) ■ 遅い(毎秒30cm以下)	
	12	オオシマトビケラ					川底の状態	□ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い ■ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 □ コケ □ その他
	13	カワニナ類	○			水のにおい		■ においは感じられない □ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	14	ゲンジボタル					水のごり	■ 透明またはきれい □ 少しにごっている □ 大変にごっている
	15	コオニヤンマ	○			この地点の水質階級は I です		
	16	コガタシマトビケラ類	○			水質階級の判定		
	17	ヒラタドROMシ類	○			1. ○印と●印の個数 5 5 2 3		
	18	ヤマトシジミ	○			2. ●印の個数 2		
水質階級 III	19	イソコツブムシ類				3. 合計(1欄+2欄) 7 5 2 3		
	20	タニシ類	○			この地点の水質階級は I です		
	21	ニホンドロソコエビ				水質階級の判定		
水質階級 IV	22	シマイシビル	○			1. ○印と●印の個数 5 5 2 3		
	23	ミズカマキリ				2. ●印の個数 2		
	24	ミズムシ				3. 合計(1欄+2欄) 7 5 2 3		
	25	アメリカザリガニ	○			この地点の水質階級は I です		
水質階級 IV	26	エラミミズ				水質階級の判定		
	27	サカマキガイ	○			1. ○印と●印の個数 5 5 2 3		
水質階級 IV	28	ユスリカ類	○			2. ●印の個数 2		
	29	チョウバエ類				3. 合計(1欄+2欄) 7 5 2 3		
この地点の水質階級は I です								

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
ヒゲナガカワトビケラ		チラカゲロウ	シマドジョウ
ヤゴ		タニガワカゲロウ	オイカワ
ヌマエビ		モノアラガイ	カワヨシノボリ
コオイムシ		ゲンゴロウ	カワムツ
マシジミ			タイコウチ
水草類		鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：内山川ホタルを守る会】

調査日：平成 29 年 8 月 7 日

調査団体名		内山川ホタルを守る会		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに () をつけて記入して下さい。	
市町村名		豊橋市		調査参加人数	6 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	内山川	
	2	ナミウズムシ		調査地点名	豊橋市岩崎町字ズシ上境坪橋上流	
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？	
	4	サワガニ	○		<input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	5	ナガレトビケラ類		調査日時	29 年 8 月 7 日 7 時	
	6	ヒラタカゲロウ類		開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	7	ブユ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	8	ヘビトンボ		水温	24.5 °C (小数点1桁まで記入して下さい)	
	9	ヤマトビケラ類		川幅	約 3.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	10	ヨコエビ類		生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
水質階級 II	11	イシマキガイ		水深	約 15 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	12	オオシマトビケラ	●	以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
	13	カワニナ類	○	流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	14	ゲンジボタル		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	15	コオニヤンマ			水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)
	16	コガタシマトビケラ類			水にごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
水質階級 III	17	ヒラタドロムシ類				
	18	ヤマトシジミ	●			
	19	イソコツブムシ類				
	20	タニシ類				
水質階級 IV	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル				
	23	ミズカマキリ				
	24	ミズムシ				
水質階級の判定	25	アメリカザリガニ				
	26	エラミミズ				
	27	サカマキガイ				
	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				
この地点の水質階級は			II です			

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
水草類		鳥類
		その他、気づいたこと

4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

<p>◆参加者名、団体名：</p> <p>◆主な観測地点：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 岐南町は公共下水道の整備率が90.3%という事で、このことも水質が良いことに繋がっているのかとも思いました。水質調査項目はCODを含む5項目で、硝酸窒素等の各窒素の項目数値は低く、水の汚れが少ないという事が分かりました。調査対象の「境川」は岐阜県管理の一級河川で、除草、清掃も比較的行き届いており、河川改修工事も順次整備されているとの事で、川の流量、流速も安定していました。今回、この様な調査に参加して改めて水の大切さを感じ、環境に関心を持つ事が出来て良い経験となりました。
<p>◆参加者名、団体名：「あいちの海」グリーンマップ</p> <p>◆主な観測地点：三河湾長谷崎：師崎中学校前の磯</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今回調査日が台風通過直後となった。いつも夏は汚れた海だと思っていた長谷崎の水質がよいことに驚いた。台風は海にとっては必要なのだ。
<p>◆参加者名、団体名：イーツーワン（環境21期会）</p> <p>◆主な観測地点：堀川：小塩橋</p> <ul style="list-style-type: none">・ 水の流れ：上げ潮の始まり（流れは少し）・ ごみ：川の中、水際と共に見あたらない
<p>◆参加者名、団体名：稲津公民館お兄さんお姉さんと勉強のお部屋</p> <p>◆主な観測地点：萩原川</p> <ul style="list-style-type: none">・ 台風の後だったので水量等心配したが通常に戻り、子ども達も川に入って水中動物の観察も出来楽しんでた。・ 見た目は澄んだきれいな水に感じ、魚が泳いでいるのが分かるがCODは8mg/l以上だった。・ ここの周辺地域は田んぼが多く農業地域であり、公共下水は通っていない合併浄化槽設置家庭であることがCODの高さに関係していると思われる。 <p>◆主な観測地点：小里川用水</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小里川の本流より引込まれた用水にて観察。（コンクリートブロックに囲まれた用水）・ この地域は公共下水が敷設された地域であり、基本的には家庭排水は流れ込まず雨水の流入のみと考えられるが比較してみた。・ 護岸が石で作られている所には生き物がいると思われるが、コンクリートブロックで囲まれたところで採水した。・ CODは2mg/lだったので生活排水や工場排水等の流入はないものと考えられるが、少し濁りを感じる。

◆参加者名、団体名：梅田川フォーラム

◆主な観測地点：梅田川：植田橋（中央）

- ・ 本年度の川魚影が殆ど見えませんでした。前年度はボラの小魚がキラキラと確認出来たのですが、何か変です。ツヅミ（ヤマト）を男児が2ヶ採取したのが救いです。気温が高くて、子供達が熱中症の心配が有りましたが無事終了（予定を）しました。小魚のキンギョスクイゲームが大人気でした。スタッフの努力に感謝です。

◆参加者名、団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム

◆主な観測地点：中川運河：中川運河いろは橋付近（上表層 50cm、上表層 2m50cm）

- ・ 調査当日は暑い日になったが、水温は昨年度調査したよりもかなり低かった。透明度については、季節柄なのか1mと、思った以上に悪い環境であった。運河内でのごみはなく、「清港会」の清掃活動が行き届いているのではと思われた。このようなモニタリングを継続していくことによって、橋を行きかうひとたちが「何をしているのだろうか？水質調査では？」と思い、運河に目を向けてくれる機会がひとつでも多くなれば、運河を身近に感じ、環境に配慮し、気づき合えることも増えてくると思った。

◆主な観測地点：中川運河：中川運河小栗橋付近（上表層 50cm、上表層 2m50cm）

- ・ いろは橋同様に、水温は昨年度調査した時よりも低かったことと、透明度について2mであった。近くに工事現場があったせいなのか、水は薬品のようなにおいがして不快であった。近くには、みどりが生い茂り、鳥の休憩スペースとなっていた。水辺には浮ゴミはなく、陸側にも落ちていることもない場所であった。「堀止船溜まり」の水辺空間の整備が進み、今後の水循環が良くなることで今後の調査が楽しみだ。

◆参加者名、団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会

◆主な観測地点：揖斐・長良川左岸：河口から左岸 3Km 地点

- ・ 今回のモニタリングは、小学生の環境学習の一環として会員代表者が学校等に働きかけたところ、学校関係者も前向きに検討し今回の合同調査が設定されました。近隣企業の協力で船を出してもらい川の環境を船上より視察さらに桑名市役所環境政策課、同市長島総合支所に協力していただき環境啓発資料、児童に対する事故防止安全用具等の準備（ライフジャケット、手袋等）等々積極的に支援をして下さいました。児童も伊勢湾を含め流域河川の人たちが環境問題に取り組んでいることを知り環境に対する意識を強くしたように感じた。児童達は「来年も参加したい」と話していた。

◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会

◆主な観測地点：扇川上流：大池

- ・ 数年前から発生したヒシが暑さのせいで腐っているのか、かなりの悪臭が気になった。
- ・ 以前多くいたイトトンボが確認できなかった。

◆主な観測地点：扇川（干潮時）：上汐田橋

- ・ 水深が浅く川底の泥がバケツに入り、リン酸の数値が高かった。水のにごりも透視度も良くなかった。
- ・ コイが異常に多い。エイが川下に泳いで行ったのはびっくり。

◆主な観測地点：扇川（満潮時）：上汐田橋

- ・ あまり良い結果が出なかった。
- ・ エンジュの花びらが水面に浮いていた。春のサクラの花ビラを比べるとあまり美しいものではないと感じた。
- ・ 親子の釣りと同時間をすごしたが、セイゴを釣り上げたお兄ちゃんのうれしそうな顔がほほえましかった。コイのエサになっていませんように!!

◆参加者名、団体名：大井まちづくり協議会 スナメリの海

◆主な観測地点：大井川

- ・ 硝酸態窒素の数字が異常に高い。上流の農業用タメ池の水が出たのか？
- ・ 河口から 300m 位上流の地点で満潮になると海水が遡上し海水魚も沢山見られます。7cm 位のクサフグや 5cm 位のボラの稚魚が見られ捕食する。ゴイサギ、トビ、カラスなどがよく集まって来ます。

◆主な観測地点：聖崎

- ・ 最近聖崎は 7 月の下旬の大潮でクサフグの産卵が有名である。波打際が白くにごるほどである。エネルギーな自然の営みです。感動します。

◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室

◆主な観測地点：庄内川上流の土岐川本流：明德橋

- ・ 短期的に大雨が降ったが、それ以外は降雨が少なく、川の水量が少ないのが、気がかりである。
- ・ 水質は比較的良いと判断しているが、COD の値が 5～6 mg/L と高く、鮎が生息できる 3 mg/L 以下にするためには、対応が必要である。
- ・ 清流に棲む絶滅危惧種のアカザが支流の小里川（孕子橋）と土岐川上流の釜戸町の新町屋橋でも捕獲できたのは、安心である。ただし、昨年度捕獲できた最上流の支流佐々木川（上平橋）では、捕獲できなかった。魚影も見られなかったのは、心配である。

◆参加者名、団体名：金山町生活学校

◆主な観測地点：馬瀬川

- ・ 台風通過後の調査だったにもかかわらず、川の水がきれいだったことに驚いた。
- ・ 昨年と変わらず、水のきれいな川で良かったです。

◆主な観測地点：飛騨川

- ・ 今年の夏は異常に暑く感じる。
- ・ 各地で河川の災害が伝えられているが今のところは我が町は水害もなく有難いです。
- ・ 川岸に多数のアメンボーを今回初めて見ました。川はなだらかに流れている。

◆参加者名、団体名：川ナビ歩こう会

◆主な観測地点：矢田川：矢田川橋下流

- ・ 川ナビ歩こう会の会員にいつもはやらないパックテストをやらせてもらえたことがよかった。

◆主な観測地点：堀川（上流部）：稚児宮人道橋

- ・ 雨が数日続いたので予定日をずらしました。

◆参加者名、団体名：港栄第一エコクラブ

◆主な観測地点：中川運河：中川運河左岸（いろは橋東）

- ・ 調査が夕方になってしまいましたが、水質は昨年と同様の結果でした。歩道を散歩する方や、親子で遊ぶ姿も見られ近隣住民にとっての親水公園として利用されているようです。（調査直前に透視度計を破損し、透明度計測が出来ず、残念でした）

◆主な観測地点：中川運河：中川運河左岸（中川閘門下流）

- ・ 中川橋の架け替え工事も終盤を迎えています。閘門を隔て水質が異なっていることが昨年同様に確認できました。

◆参加者名、団体名：清水川を愛する会

◆主な観測地点：新荒田川：八幡神社前

- ・ 台風の接近で盆前の実施は見送らせていただきました。
- ・ 新荒田川上流部および下流境川でのモニタリングは実施されていないのでは、地域が私達と異なりますので街頭地域へのはたらきかけをされると良いかと思いますが

◆参加者名、団体名：十四川と環境を守る会 十四川部門

◆主な観測地点：十四川の河口

- ・ 十四川は、高潮対策として河口に水門が設置されており、排水は常に排水ポンプで行う構造になっています。このため、どうしても河口に土やゴミが堆積し、これがヘドロ化して悪臭の原因になっています。調査地点から上流2kmほどは桜堤防で、散歩道や憩いの場として広く地域住民に親しまれていますが、どうしても「ごみ」が捨てられます。この捨てられたゴミが河口に流れ悪臭の原因ともなります。住民ひとり一人が川を汚さないという意識を強く持ってほしいものです。

◆参加者名、団体名：庄内川に松並木づくり隊

◆主な観測地点：名古屋港：東金城橋

- ・ 8月2日 指定日のため合わせたが、平時港湾近くの幹線道路は大型トレーラーの右左折で渋滞はげしく危険を感じた。本年以後は休日測定することに決めた。

◆主な観測地点：名古屋港：トリトン橋西詰

- ・ 危ないと琴の移動をさけて高速道を使用した。個人の工事が不明だが資材が持ち込まれ困っており採水するのに苦労した。

◆主な観測地点：イカダ川河口：第2イカダ大橋

- ・ 最近釣り人少なそう。釣餌による汚れが少なくなった。
- ・ 透視度 28.0cm 簡易ビュッホー 風力：1 風向：南 S=防波堤の灯台

◆主な観測地点：和泉川：夢岬橋

- ・ 以前にも気になった事があったが、試薬の表示と5本(5種)のセット袋入れは製薬会社で作業してるか？
- ・ 試薬の表示現場で見にくいので事前に油性ペンで太く書き直して冷蔵庫保管して持参していくのだが、?の(アンモニウム態窒素・亜硝酸態窒素・硝酸態窒素)の3種はチューブの底にごくわずか黄色の塊ができ、色がほぼ透明でごくわずか黄色を発している。振っても塊は動かない。私が思うには大量のため古い品を薬品知識のうすい人が取り扱っているのではないかと思います。
- ・ それとも私らのチームの能力を試すための仕業でしょうか。こんなこと思いたくないですがまずは表示方法を識別等分かり易く変更できないものでしょうか。

◆参加者名、団体名：スティッチ

◆主な観測地点：加瀬由川

- ・ 毎年ありがとうございます。長年参加させて頂いておりますが、依頼すれば経年変化(データの一覧など)をお示しいただくことは可能でしょうか？

◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会

◆主な観測地点：朝明川

- ・ 昨年と同時刻に測定、毎年水温が30℃と高いところ、今年は28℃と2℃も低かった。
- ・ 調査5項目にこの温度差はあまり影響してないように思えた。
- ・ 8月初旬の大雨の影響で川の水位が上がり、葦の枯草や人工物が筋になって大量に打ち上がっていた。

◆主な観測地点：高松海岸

- ・ 朝明川河口の調査中に雷が遠くで聞こえたので、測定は翌日(19日)の早朝へ持ち越した。
- ・ 早朝の満潮時間を過ぎたころに測定を始めた。
- ・ 水温27度であった。河口と同じように水温は下がっていた。
- ・ 8月初旬の大雨の影響でしょう、葦の枯草、竹、ペットボトルなどが所狭しと打ち上がっていた。
- ・ 花火等で遊んだまま状態で放置されていた。
- ・ 貝取り人、釣り日地が見られた。

<p>◆参加者名、団体名：引山学区連絡協議会</p> <p>◆主な観測地点：香流川：中域引山二丁目地内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年調査に参加していますが、水質、生き物に大きな変化はありません。 ・ 年間の鳥類 30 種いましたが、今年はカモが極めて少ないアオサギも少なくなりました。
<p>◆参加者名、団体名：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会</p> <p>◆主な観測地点：庄内川：国道 23 号 庄内大橋 中央部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最大満潮時刻 3：05 最大干潮時刻 9：58 （中潮） ・ 潮の流れは歩く速さに近い（上流→下流） ・ 北西の風 <p>◆主な観測地点：新川：国道 23 号 新川大橋 中央部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 透視度が 65cm と新川では高い数値 ・ 庄内川に比べあらゆる水質項目で良い値である。 ・ 塩分が新川：0.13% 庄内川：0.27% と違いがある。 ・ 川岸辺りでは水草（藻）が流れている。
<p>◆参加者名、団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ</p> <p>◆主な観測地点：鹿乗川：別所団地児童公園前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は小魚の数が大幅に減少した感じがします。 ・ 魚類のエサとなる指標、魚類への有害物質（除草剤、洗剤）等を測定できる試薬又は方法があれば水質検査に興味をわくと思います。
<p>◆参加者名、団体名：やすらぎくんネット</p> <p>◆主な観測地点：鈴鹿川：亀山橋下流 50m 左岸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午前中は「水生生物水質調査」に参加し、昼食休憩の後に引続きモニタリング調査を行った。 ・ メンバーの高齢化や気象の変化などを考慮しての対応だったが、月例会などを含めた集合機会をうまく利用する方向で、実施時期を再検討したい。 ・ 水性生物水質調査とモニタリング調査とを統合できると、参加者にはありがたい。 ・ 子どもたちや若い人たちに、より多くこうした活動に参加してもらえることを期待する。
<p>◆参加者名、団体名：養老町生活と環境を考える会</p> <p>◆主な観測地点：牧田川：三神牧田川右岸 11.8k の立て札あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は水量が少なくたまり水となっていました。水質もいつもより汚れた水でした。しかしメダカ、カニの姿も見られました。 ・ 1ヶ月ほど前には川上の精油会社の廃油が「牧田川に流れていた」と新聞報道がありました。今後も伊勢湾再生の取り組みを進めていく為モニタリングの活動を続けていきます。 <p>◆主な観測地点：小畑川：小畑橋 300m 上左岸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水がよどみ透明度が今年はないので汚れている様にみえましたが水質はいつもどおりでした。 ・ 缶ペットボトルがよしの間にありました。 ・ 地域での広報活動を今後もしていきたいです。

◆参加者名、団体名：四つ葉会

◆主な観測地点：東川

- ・ 上流に池田小学校があり、子供達が遊んだり、学習するのにいい状態になっている。
- ・ 下水道がまだ上流の方半分程は未完なので、特に下流は見るからにきれいではない。しかし今回も上流の小学校の水場で調査したので充分きれいだった。
- ・ 中流あたりは、毎年蜚が多くとびかい大事な川です。

◆主な観測地点：中川

- ・ 短い川だが、以前は湧水池が水源だった。
- ・ 今は住宅が多く、特に夏は用水として農地へ引く為せきを止め、水を溜めるので、川が汚れゴミも浮かんでいる。せめて、ゴミはながさないように又堤防もきれいにしたい。
- ・ 調査地点は水が常時たまっているので夏祭りをされるとき盛大に花火をされている。

◆主な観測地点：杭瀬川

- ・ 毎年、このグループで参加し、あとで反省会をしているが、「やってよかったね。ゴミをほとんどなくて、清流やね。」「子供時代に帰って泳ぎたい」地域の人達が時々、ゴミひろいをしたり、草刈りをして…おかげできれいな川となり、両岸の上の道が散歩道としていい環境になっている。池田山に雨が降ると一気に増水するが、いつもは下水道も完成（流域は）して、すてきな川です。

◆参加者名、団体名：株式会社 地域環境計画

◆主な観測地点：堀川：稚児宮人道橋

- ・ 大変面白い取り組みだと思います。ぜひ継続して下さい。

◆主な観測地点：香流川：下川原橋上流

- ・ 身近な川の環境を知り、考えるきっかけになる取り組みと思います。

◆参加者名、団体名：小塩通信株式会社

◆主な観測地点：長良川左岸：鏡島大橋下

- ・ 平成 22 年度より参加させて頂いております。今年度は、弊社の子どもたちも夏休みということで、遊びながらモニタリングと一緒に参加して頂きました。子どもたちに水質調査についての説明がうまくできず、意味が伝わらなかったかもしれません。楽しかったようなので、何よりです。水辺の生き物にも興味津々でした。大事だと思います。次回も全員で参加できると良いと思います。有難う御座いました。

◆参加者名、団体名：東芝プラントシステム株式会社

◆主な観測地点：庄内川：地点① 庄内川 放水路付近、地点② 庄内川 新名西橋付近

- ・ 昨年に続き参加させて頂きました。普段から、庄内川アダプト活動で周辺の清掃活動を通して河川を守ることの重要性を感じていましたが、「平成 28 年度伊勢湾流域圏一斉モニタリング」確定版を頂き、あらためて河川と海の繋がりや見守り続けることの重要性を強く感じました。来年も是非参加させて頂きたいと思います。今回調査時に川に鯉や鮒など多くの魚を発見でき、何かほっとした気分になりました。多くの方々が参加し収集したデータが伊勢湾流域圏の再生に寄与することを願っております。

◆参加者名、団体名：東洋建設株式会社

◆主な観測地点：名古屋港

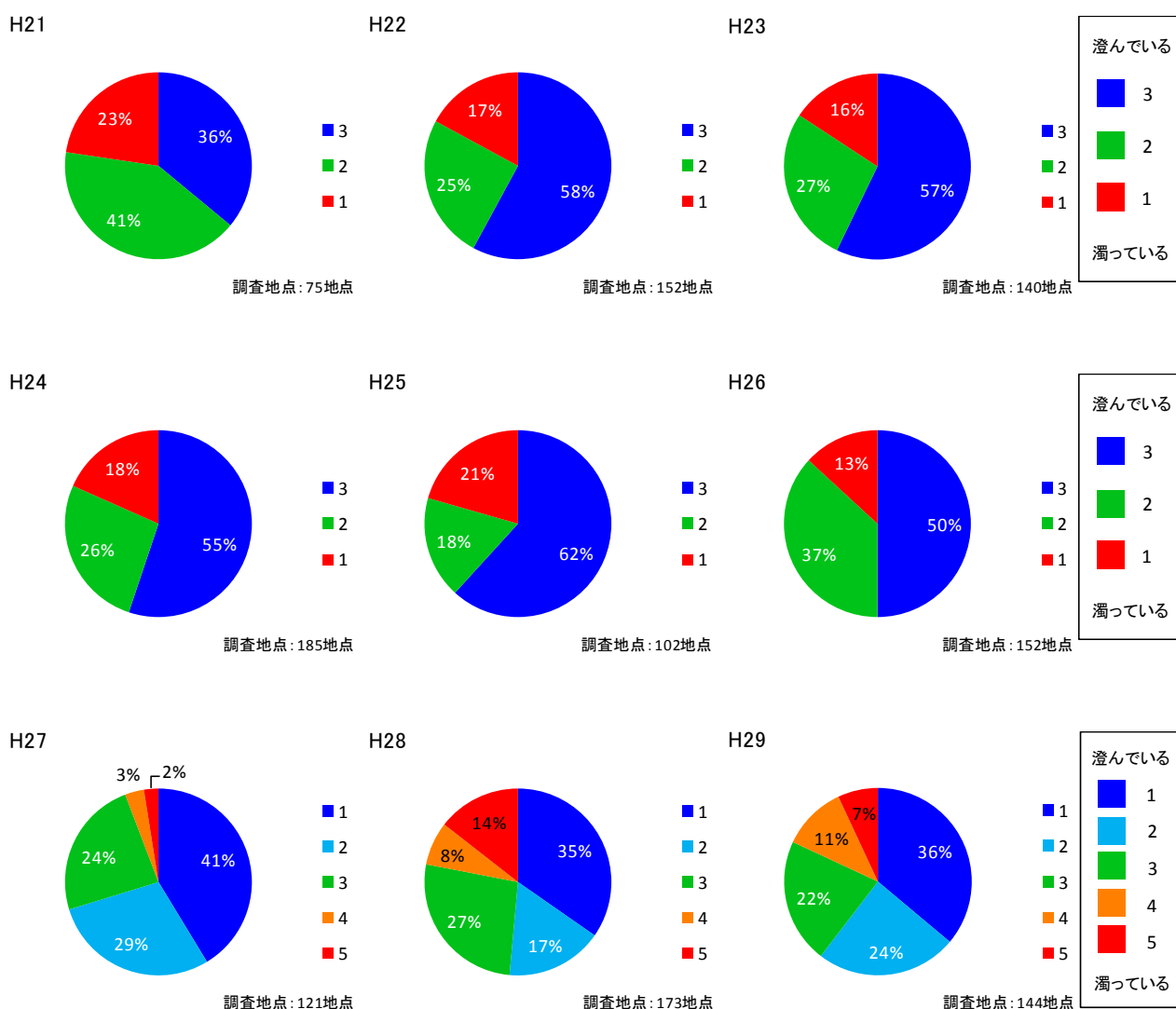
- ・ 台風 5 号通過後の測定であり、結果は悪いと思われる。

5. 一斉モニタリング経年調査結果のまとめ

平成21年度から行われている一斉モニタリング調査結果の経年的な変化を整理しました。

(1) 水のきれいさ

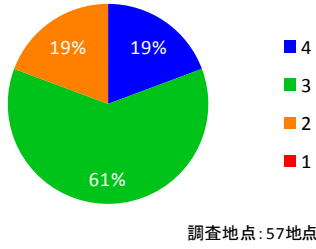
平成28年度と比較すると、平成29年度は澄んでいるの回答(1,2,青色、水色)の割合が52%から60%に増加しています。また、濁っているの回答(1,赤色)が減少し見た目の水のきれいさの改善傾向がみられます。



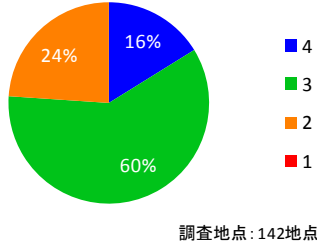
(2) 水量

平成 29 年度の水量が多いの回答（1,2,青色、水色）は 46%で、平成 27 年度から少しずつ増加傾向にあります。

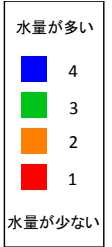
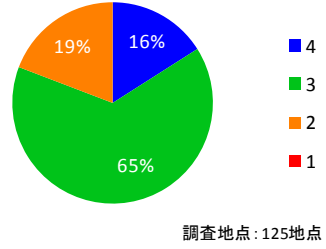
H21



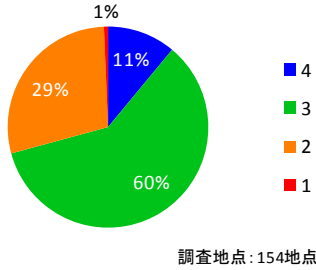
H22



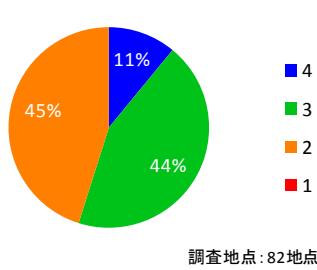
H23



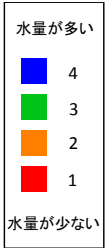
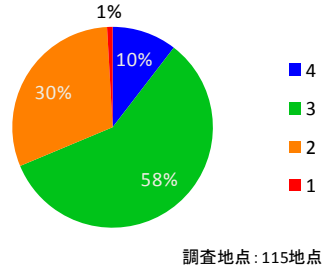
H24



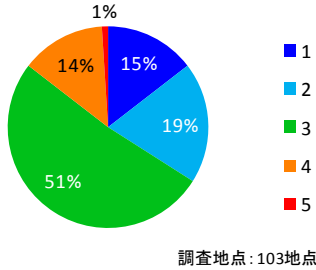
H25



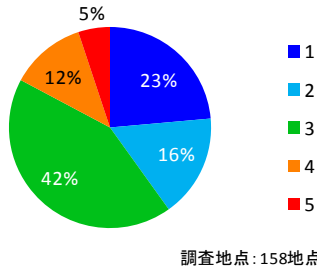
H26



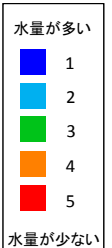
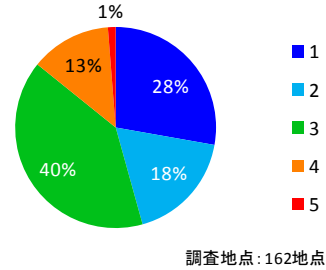
H27



H28

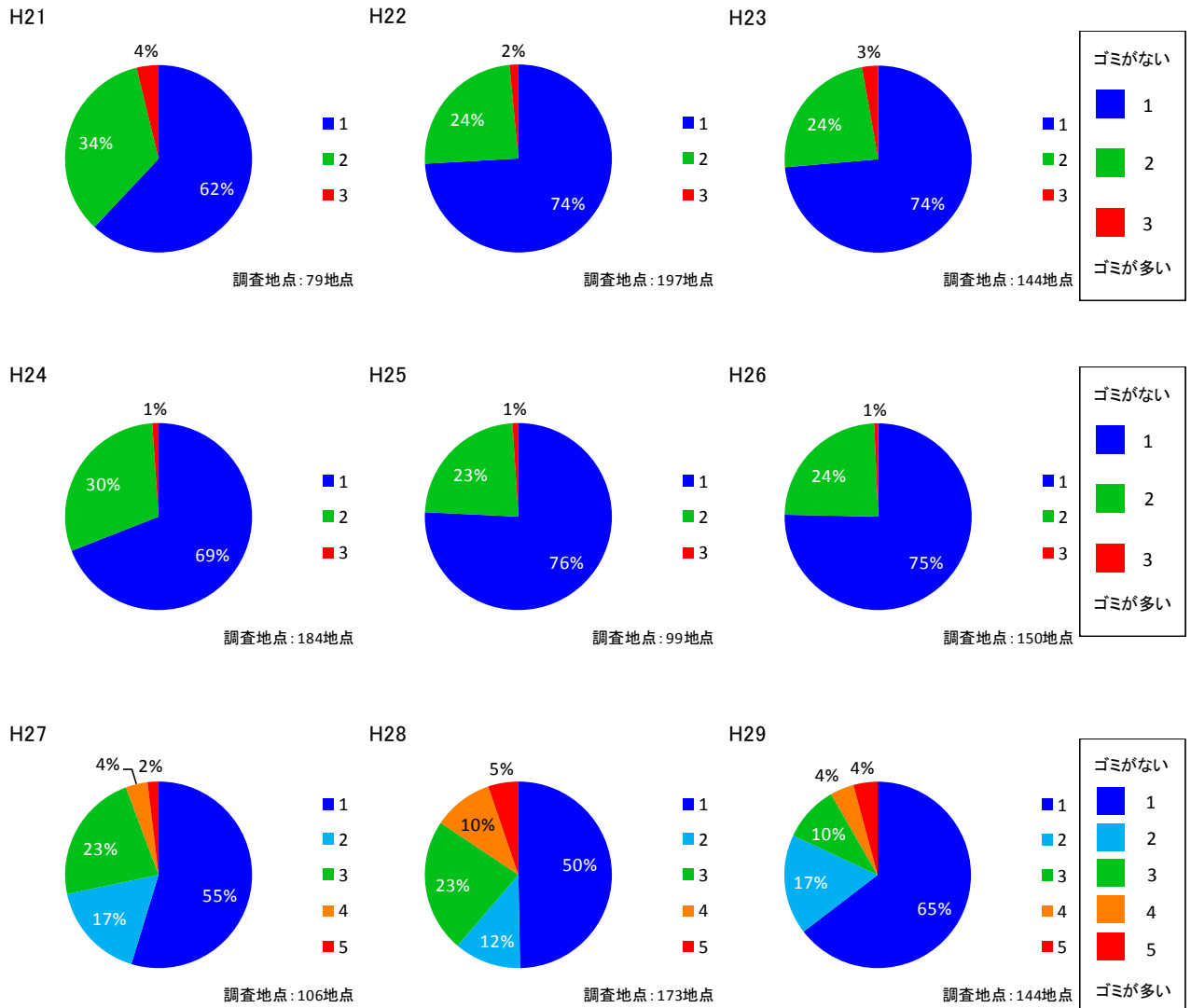


H29



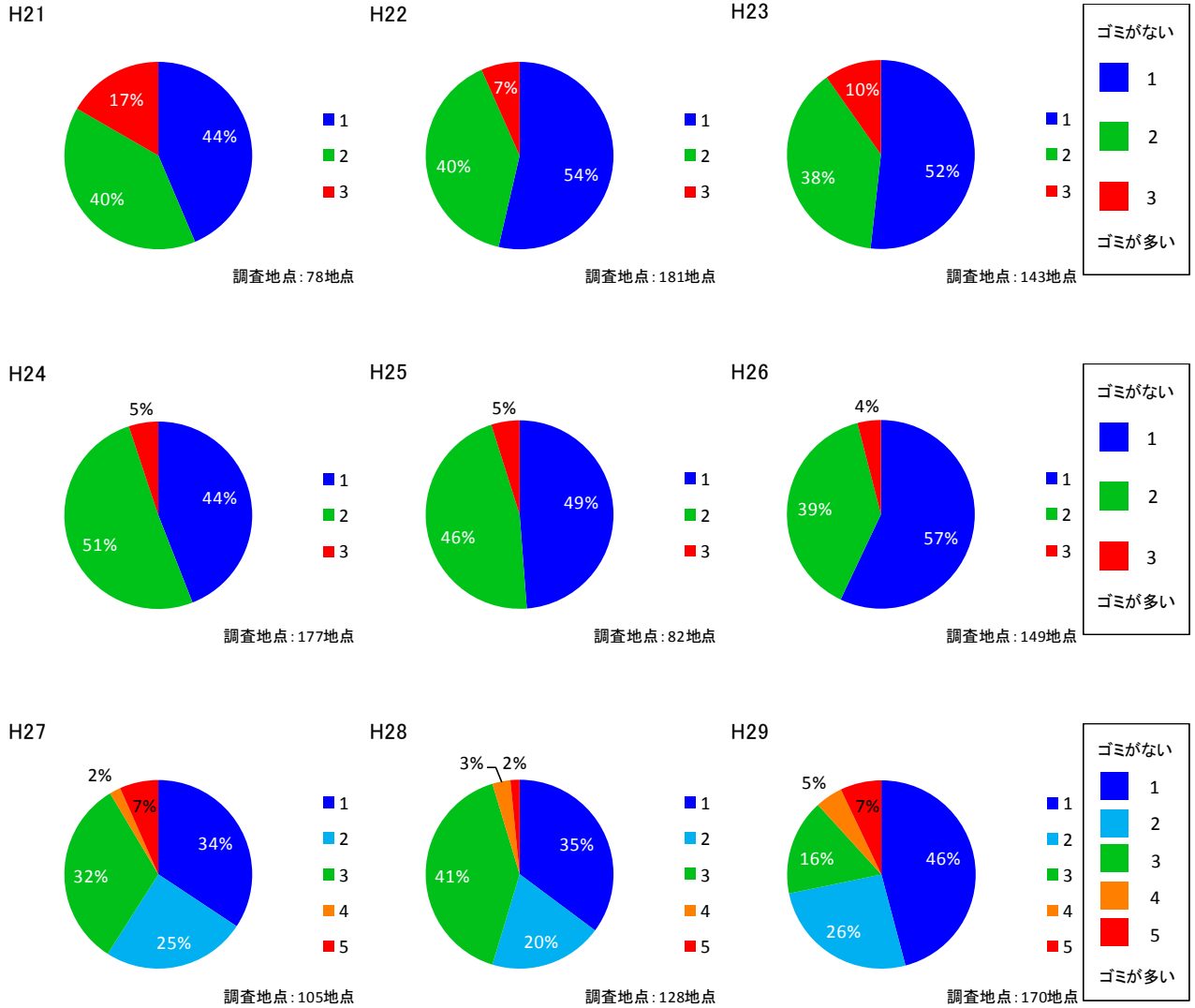
(3) ゴミ状況（水面）

平成 28 年度と比較すると、平成 29 年度はゴミがないの回答（1,2,青色、水色）は 62%から 82%に増加し水面のゴミの量が減っていることがわかります。



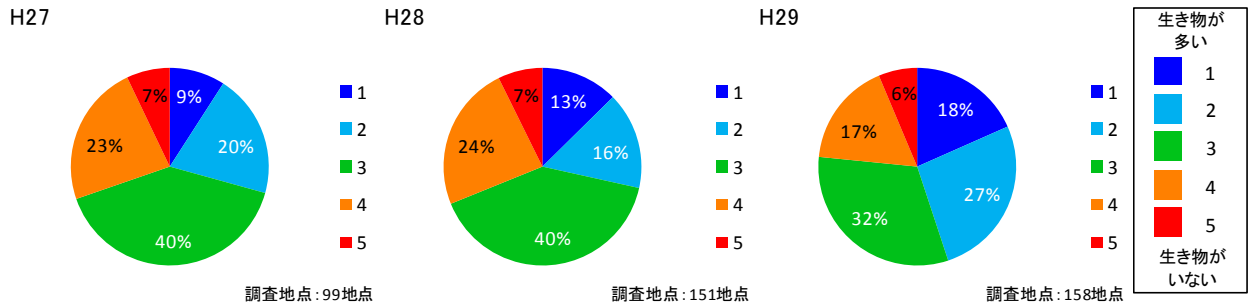
(4) ゴミ状況（周辺）

平成 29 年度のゴミがないの回答（1,2,青色、水色）は 72%で、過去 3 年間で最も高くなっています。水辺周辺のゴミが減ってきていると考えられます。



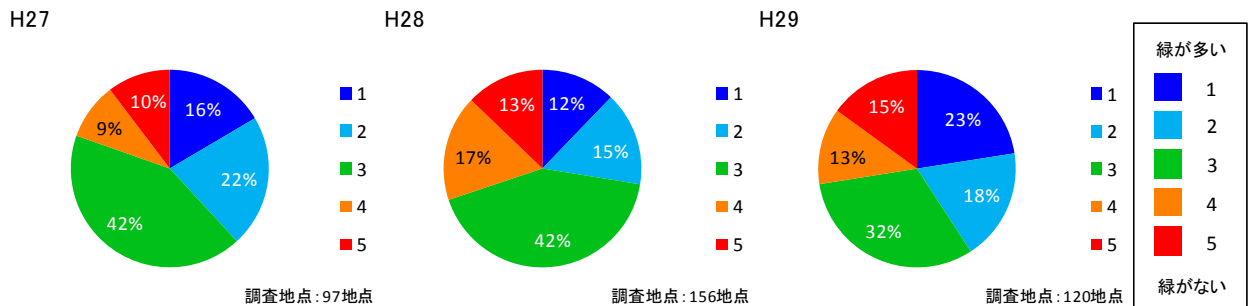
(5) 生物

平成 29 年度の生き物が多いの回答（1,2,青色、水色）は大きく増加し、水辺の生物が増えていると考えられます。



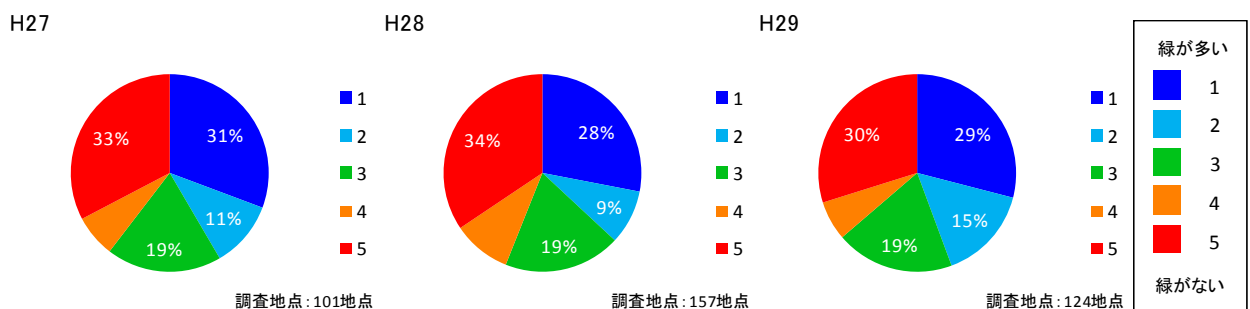
(6) 植物（周辺）

平成 29 年度は、植物量についても緑が多いの回答（1,2,青、緑）が過去 3 年で最も多く、周辺の植物量が増えていると考えられます。



(7) 植物（水際）

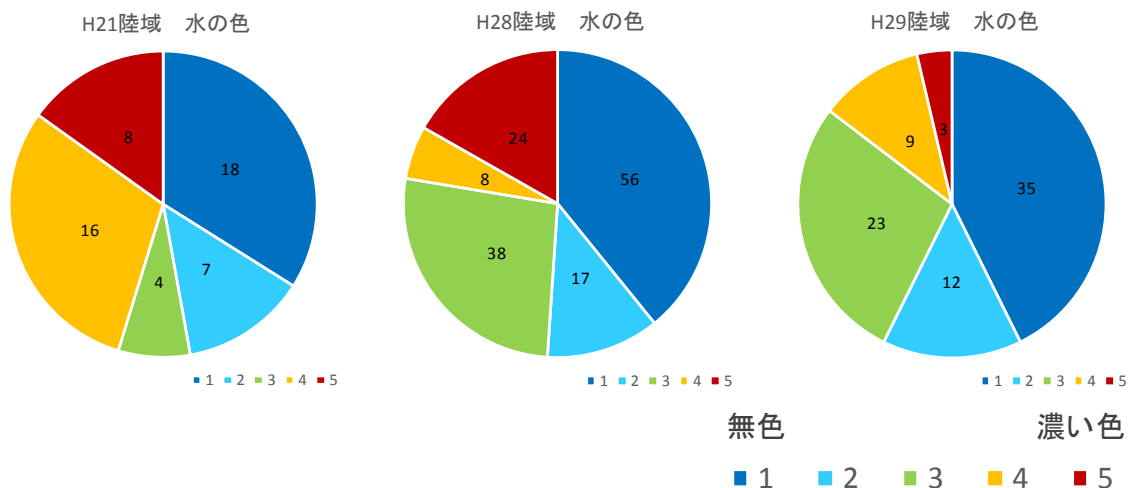
平成 29 年度の水際の植物量は、平成 28 年度と比較すると緑が多い（2,水色）の回答が若干増加していますが、経年的には同じような割合となっています。



(8) 水の色 of 平成 21 年度、平成 28 年度および平成 29 年度の比較

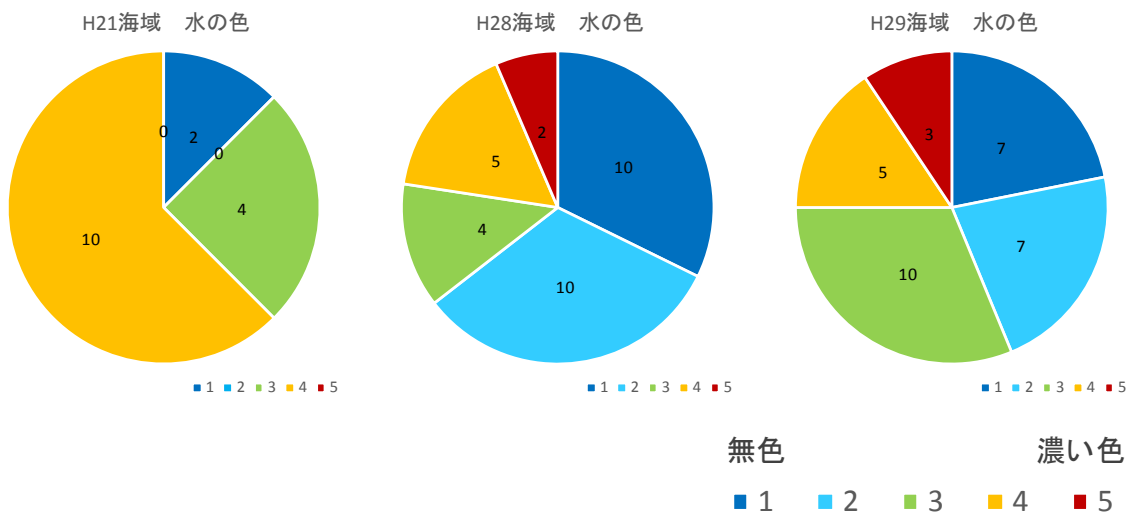
① 陸域の水の色 (数字は回答数)

平成 28 年度と比較して、平成 29 年度は無色寄りの水の色 of 回答 (1, 2, 3, 青、水色、黄緑色) が増加し陸域の水の色が改善傾向であることがわかります。



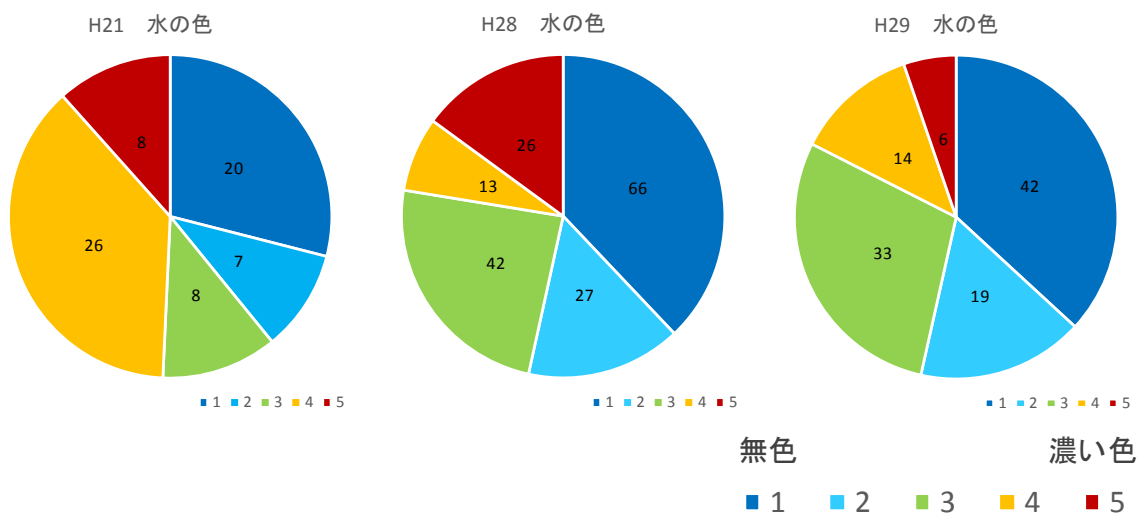
② 海域の水の色 (数字は回答数)

平成 28 年度と比較すると平成 29 年度は、中間 (3, 黄緑色) の割合が増加しています。海域では、平成 28 年度と比較して水の色が変化していると考えられます。



③ 流域全体の水の色の変化（数字は回答数）

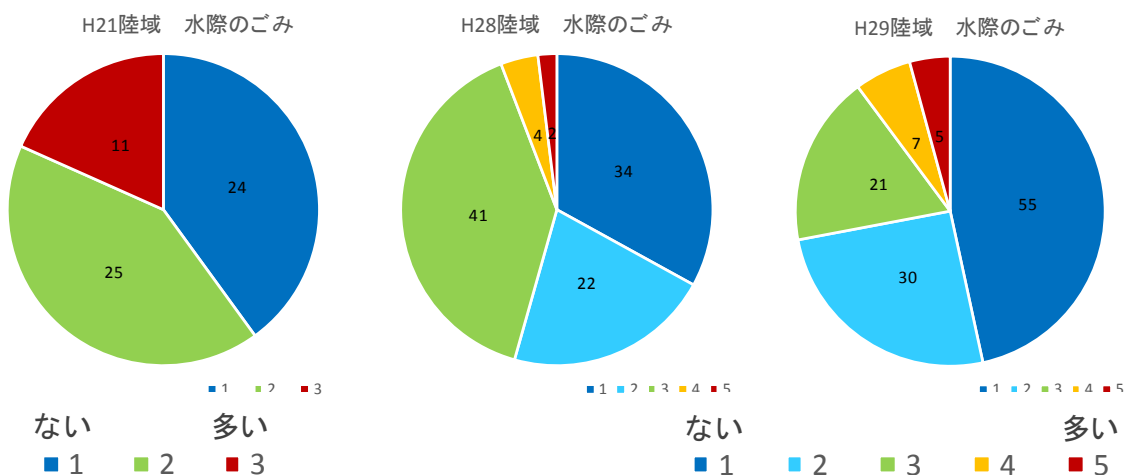
流域全体では、平成 28 年度と比較して平成 29 年度は無色に近い水の色（1, 2, 青、水色）の割合はほぼ変化なく、流域全体の水の色は平成 28 年度と概ね同じ傾向となりました。



(9) 水際のごみの平成 21 年度、平成 28 年度および平成 29 年度の比較

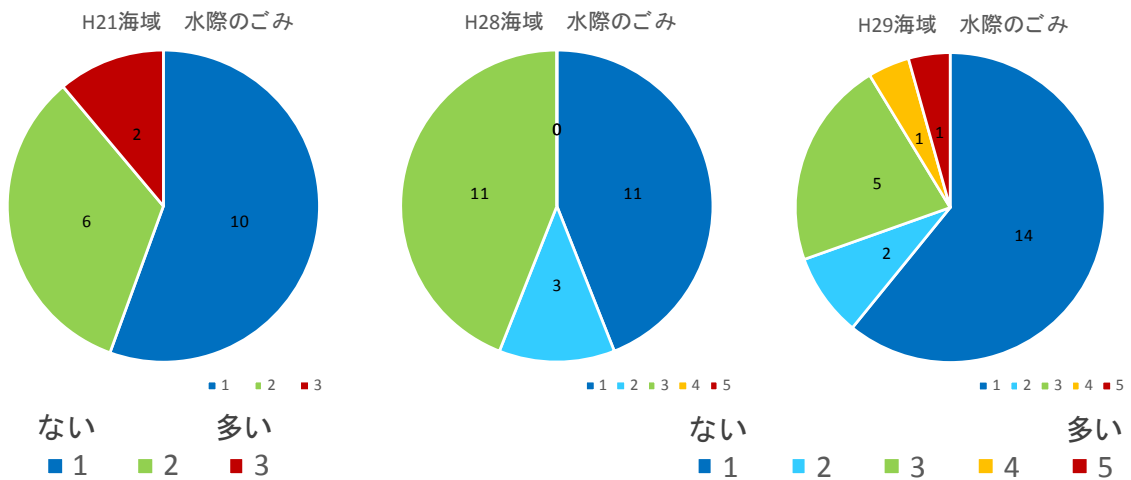
① 陸域の水際のごみ（数字は回答数）

平成 28 年度と比較すると、平成 29 年度はゴミがないの回答（1, 2, 青、水色）の割合は増加していますが、ゴミが多いの回答（4, 5, 黄、赤色）の割合も増加しています。



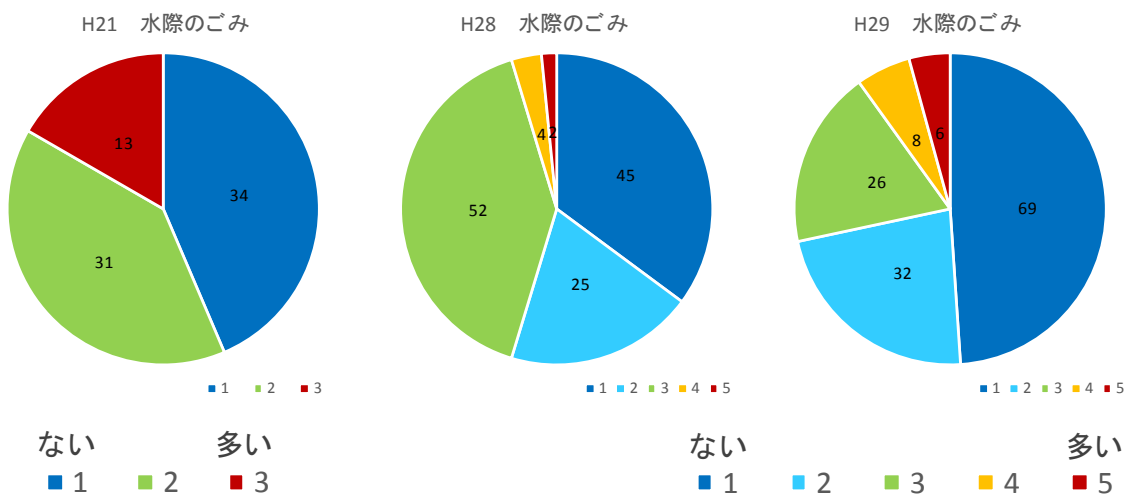
② 海域の水際のごみ（数字は回答数）

平成 29 年度は、ごみが多いの回答（4, 5, 黄色、赤色）がみられますが、ごみがないの回答（1, 2, 青色、水色）の割合も増えています。



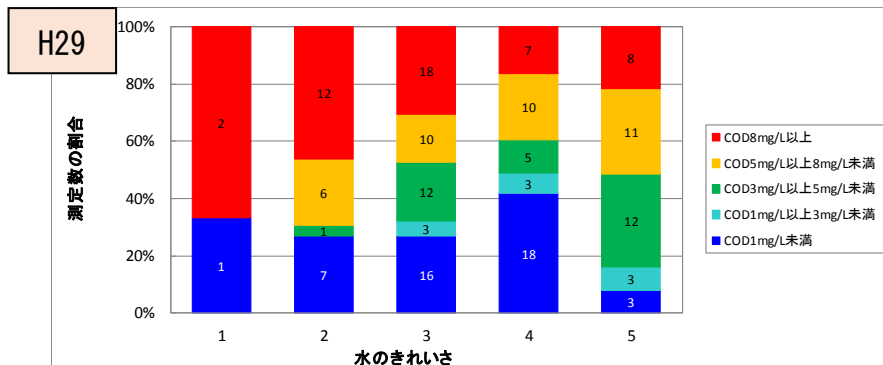
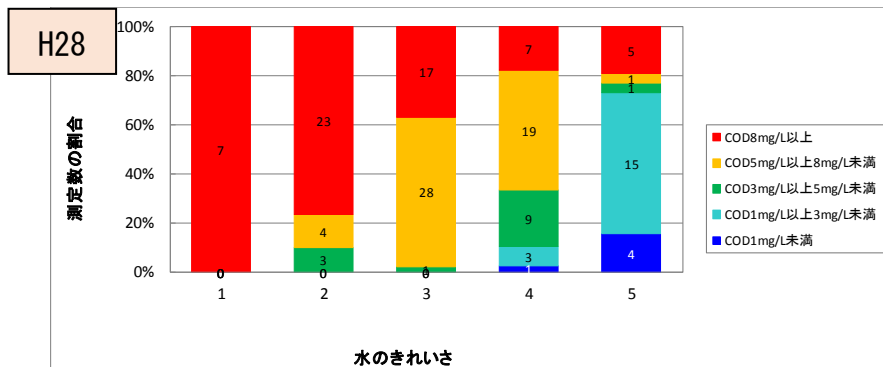
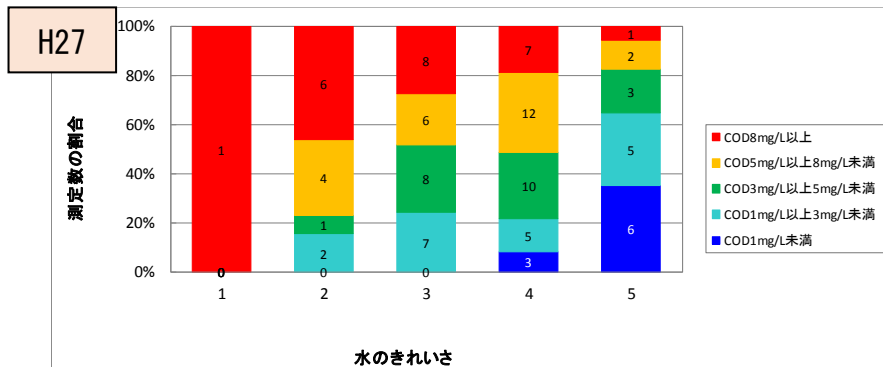
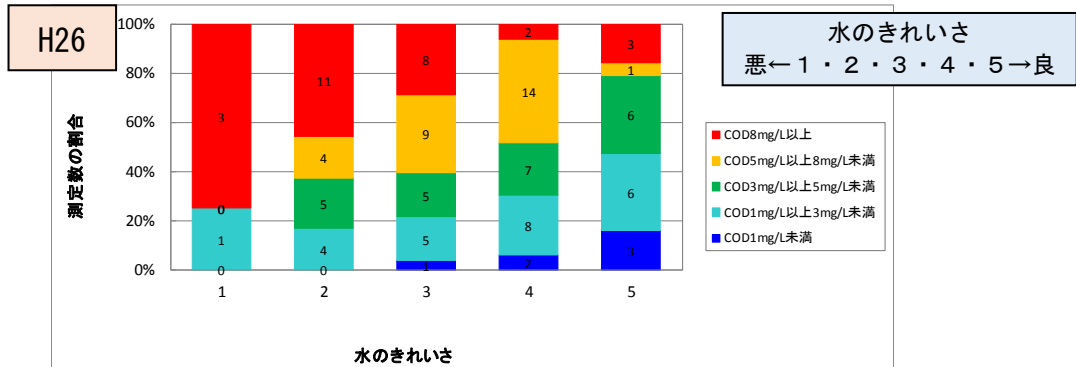
③ 流域全体の水際のごみの割合の変化（数字は回答数）

流域全体では、平成 28 年度と比較して平成 29 年度はごみが多いの回答（4, 5, 黄色、赤色）の割合が増えています。一方でごみがないの回答（1, 2, 青色、水色）は増加しており、海域と同じ傾向がみられます。



(10) 平成 26 年度～平成 29 年度の見た目の水のきれいさと COD の関係

平成 29 年度は、水のきれいさ 1～5 のすべてで CODmg/L 未満の地点がみられます。また、COD1mg/L 未満の地点数が最も多いのは水のきれいさ 4 となっており、見た目の水のきれいさと COD の値の相関性がみられない結果となっています。透明度が良いなど、見た目の水がきれいであっても、COD 値が必ずしも低いとは言えないと考えられます。反対に、見た目の水のきれいさが良くないときには COD 値が高くなることが多いと言えそうです。



(11) 定点モニタリングの結果

地点により値の大小はありますが、定点モニタリングにより身近な河川や海辺等で経年的に水質調査を行い、水質の変動を観測していくことが大切だと考えられます。

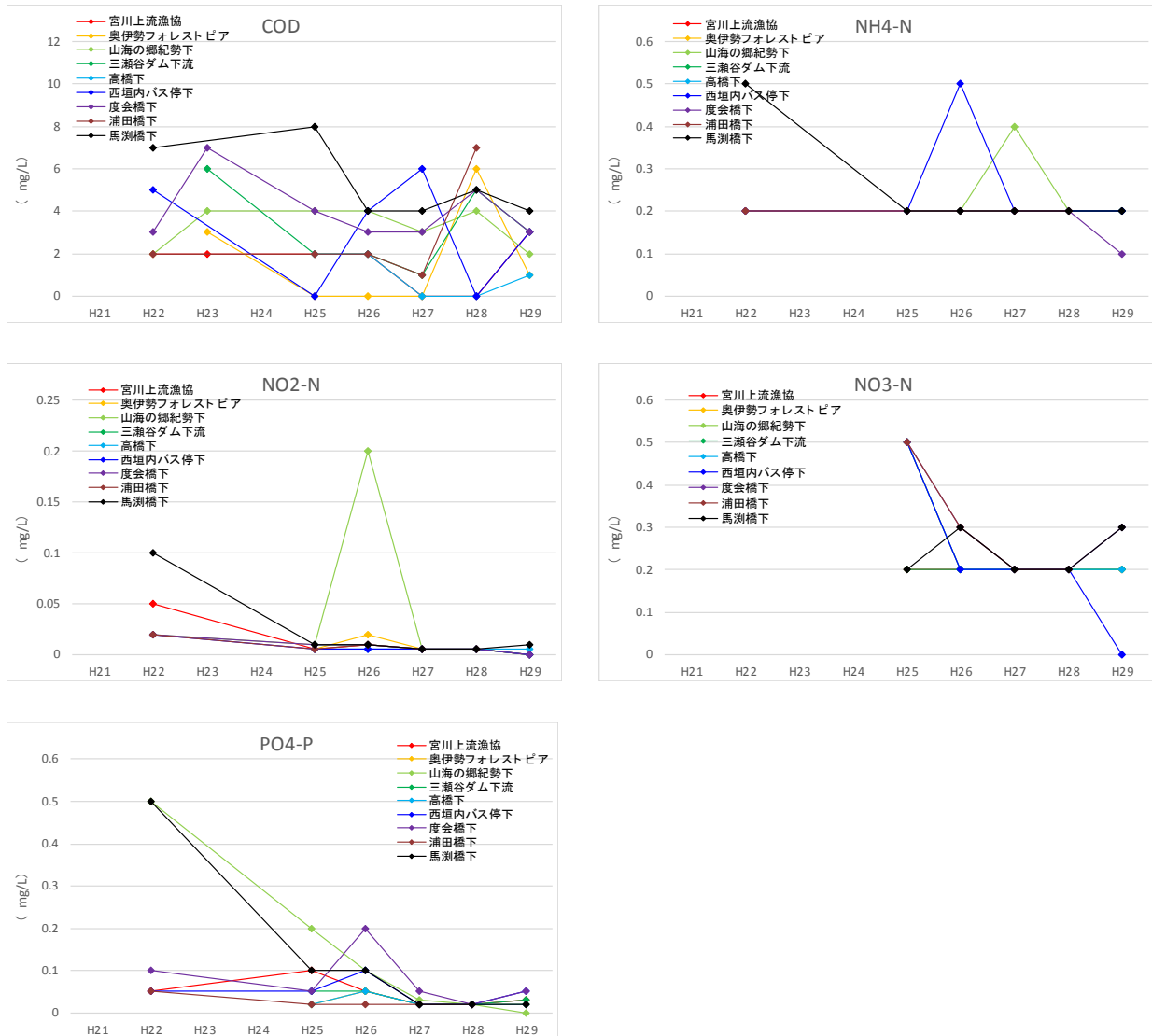


図 5.1 伊勢市周辺の調査結果

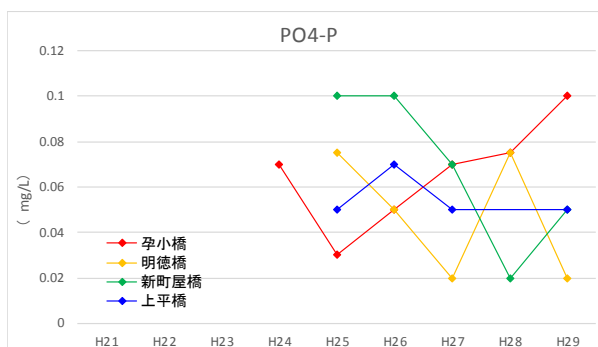
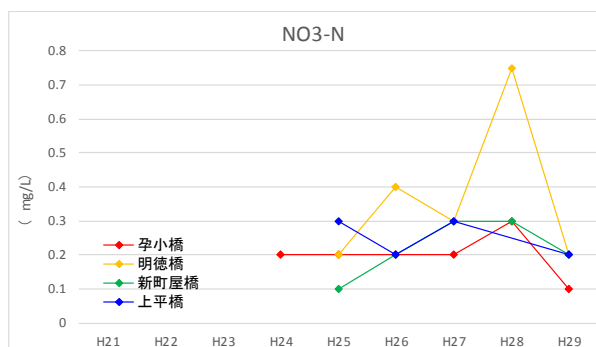
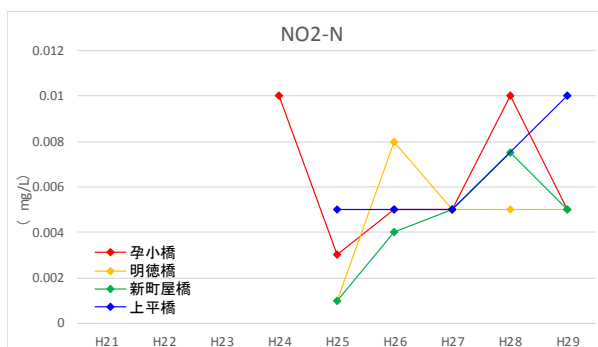
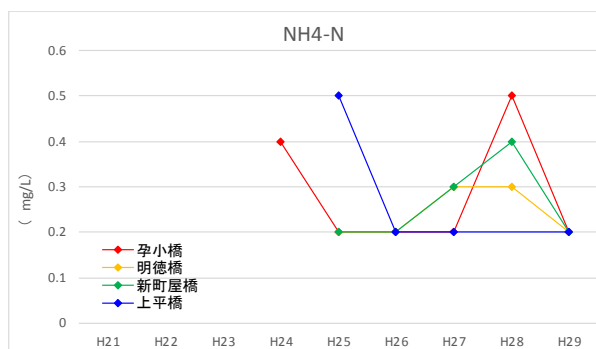
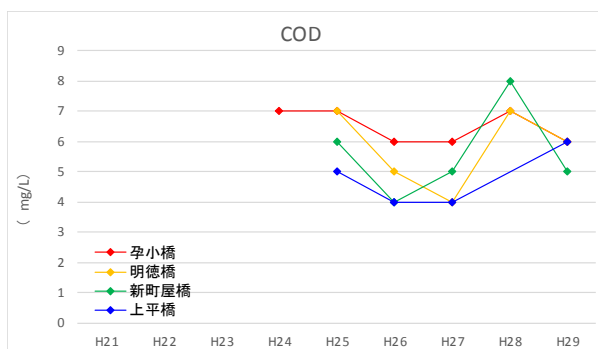


図 5.2 瑞浪市周辺の調査結果

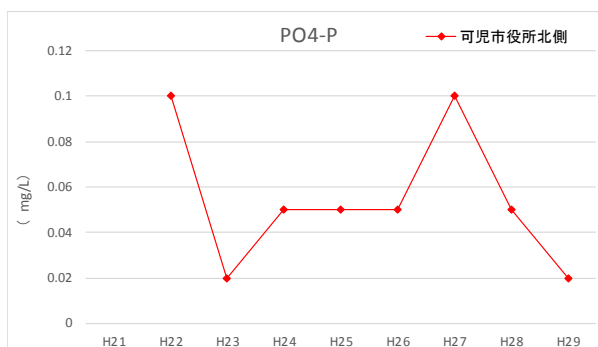
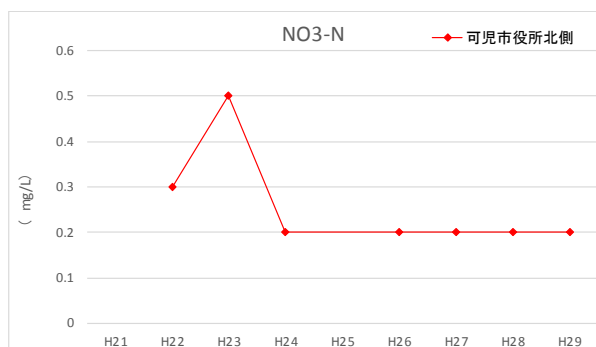
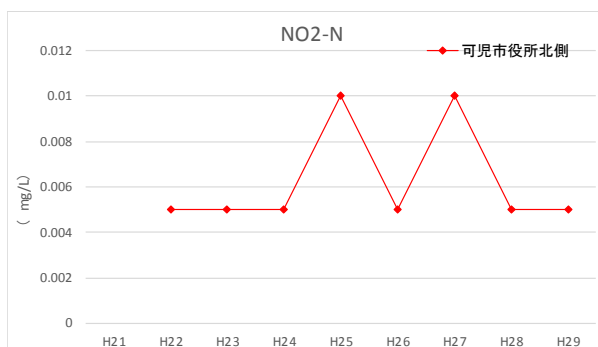
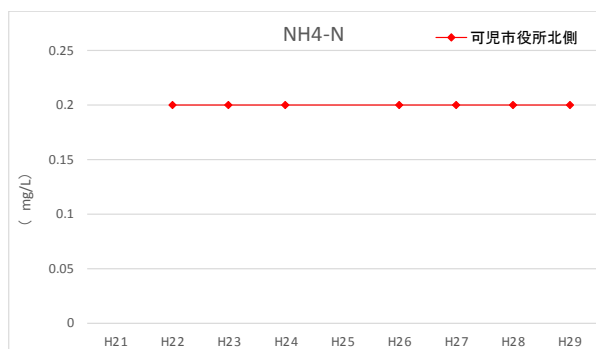
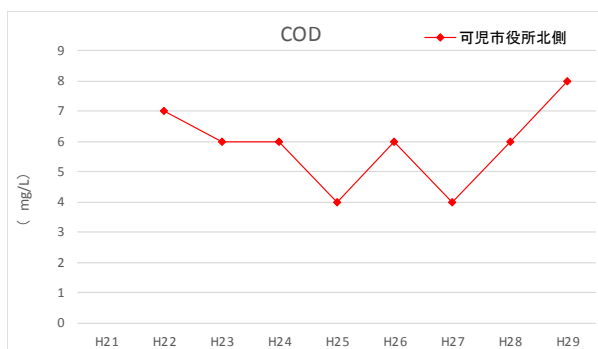


図 5.3 可児市周辺の調査結果

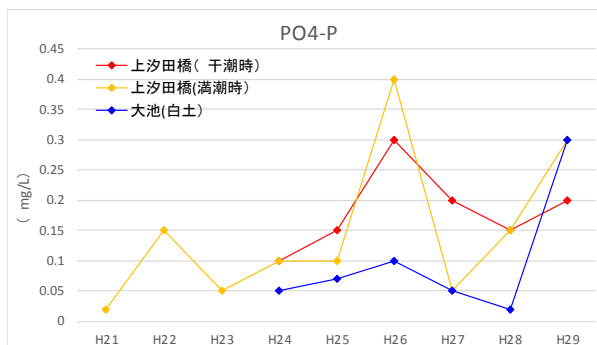
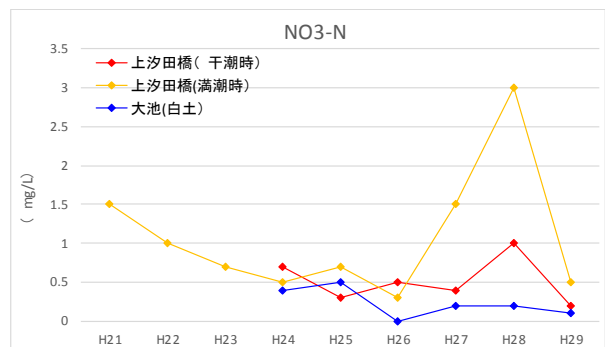
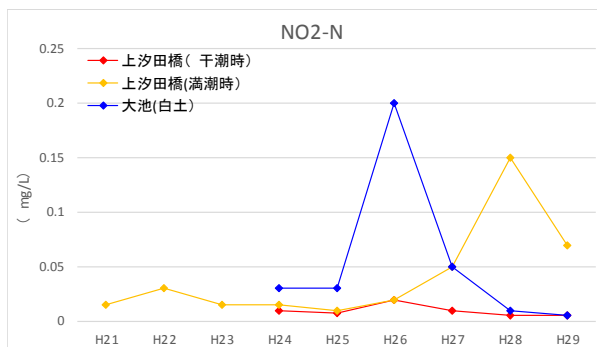
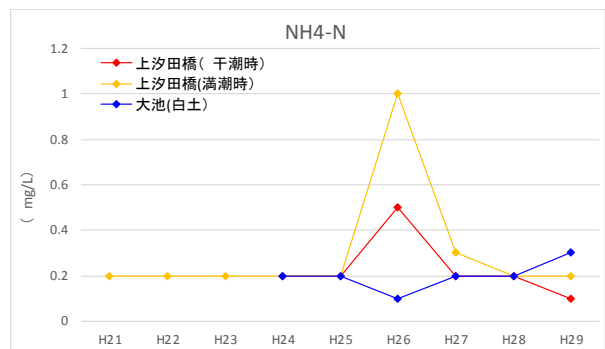
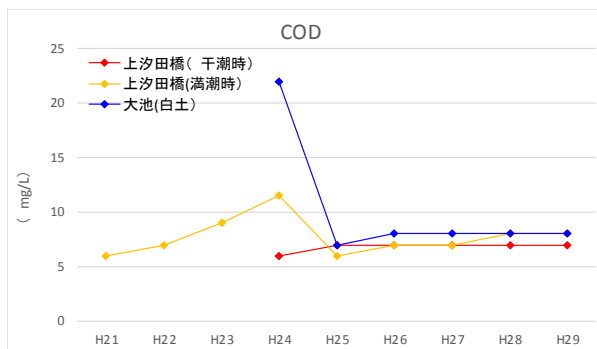


図 5.4 名古屋市周辺の調査結果

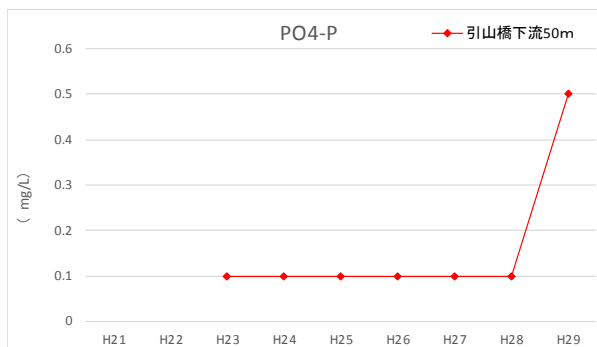
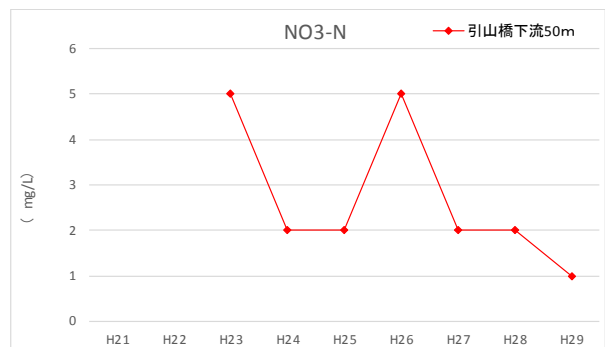
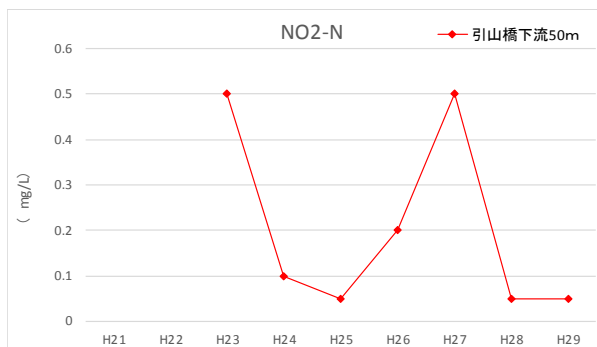
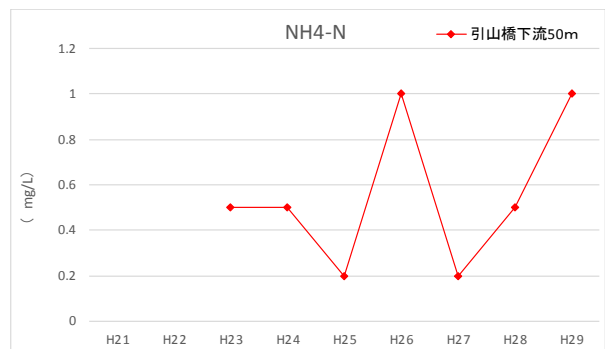
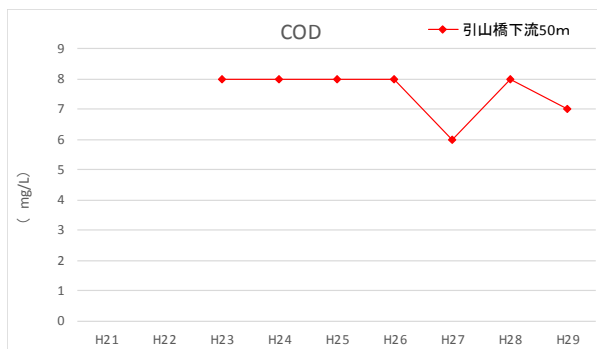


図 5.5 名古屋市周辺の調査結果



図 5.6 岐阜市周辺の調査結果



図 5.7 三重郡川越町周辺の調査結果



図 5.8 弥富市周辺の調査結果



図 5.9 豊橋市周辺の調査結果